

## 業績目録

### 〔看護学専攻〕

#### 〔基幹看護学講座〕

##### 【論著書】

(教材・著書)

1. 八代利香, 水田明子, 松田史代, 井上和博, 木山良二, 山本直子, 窪田正大, 田中久美子, 牧迫飛雄馬, 中尾優子, 赤崎安昭: チーム医療におけるルーラルヘルスケア—黒島を訪ねて—: Visiting Kuroshima Island ~ Home Visit to a Remote Island ~ (日本語・韓国語・英語版 DVD), 東京サウンドプロダクション, 2022.2.
2. Ann Gallagher2020/ 宮内信治・小西恵美子訳. 2022. スローエシックスと看護のアート: ケアする倫理の物語. 東京. 南江堂

##### 【論文著書】

(英文論文)

1. Kayoko Koga, Megumi Hara, Chisato Shimano, Yuichiro Nishida, Takuma Furukawa, Chiharu Iwasaka, Keitaro Tanaka, Jun Otonari, Hiroaki Ikezaki, Yoko Kubo, Yasufumi Kato, Takashi Tamura, Asahi Hishida, Keitaro Matsuo, Hidemi Ito, Yohko Nakamura, Miho Kusakabe, Daisaku Nishimoto, Keiichi Shibuya, Sadao Suzuki, Miki Watanabe, Etsuko Ozaki, Daisuke Matsui, Kiyonori Kuriki, Naoyuki Takashima, Aya Kadota, Kokichi Arisawa, Sakurako Katsuura Kamano, Kenji Takeuchi, Kenji Wakai. Association of perceived stress and coping strategies with renal function in middle-aged and older Japanese men and women, *Sci Rep* 2022; 12(1), DOI: 10.1038/s41598-021-04324-2
2. Yasuyuki Nakamura, Takashi Tamura, Akira Narita, Atsushi Shimizu, Yoichi Sutoh, Naoyuki Takashima, Kenji Matsui, Naoko Miyagawa, Aya Kadota, Katsuyuki Miura, Jun Otonari, Hiroaki Ikezaki, Asahi Hishida, Mako Nagayoshi, Rieko Okada, Yoko Kubo, Keitaro Tanaka, Chisato Shimano, Rie Ibusuki, Daisaku Nishimoto, Isao Oze, Hidemi Ito, Etsuko Ozaki, Daisuke Matsui, Haruo Mikami, Miho Kusakabe, Sadao Suzuki, Miki Watanabe, Kokichi Arisawa, Sakurako Katsuura-Kamano, Kiyonori Kuriki, Masahiro Nakatochi, Yukihide Momozawa, Michiaki Kubo, Kenji Takeuchi, Kenji Wakai & J-MICC Research Group Consortium. A genome-wide association study on adherence to low-carbohydrate diets in Japanese, *European Journal of Clinical Nutrition* 2022; 76(8): 1103–1110, DOI: 10.1038/s41430-022-01090-w.
3. Daisaku Nishimoto, Mine Imajo, Shimpei Kodama, Ippai Shimoshikiryo, Rie Ibusuki, Yasuhito Nerome, Toshiro Takezaki, Ikuko Nishio. The effects of resilience and related factors on burnout in clinical nurses, Kagoshima, Japan, *Yonago Acta Medica* 2022; 65(2): 148–159, DOI: 10.33160/yam.2022.05.007
4. Daisaku Nishimoto, Shimpei Kodama, Ikuko Nishio, Hyuma Makizako. Association between the Perception of Behavior Change and Habitual Exercise during COVID-19: A Cross-Sectional Online Survey in Japan. *Int. J. Environ* 2022; 20(1), 10.3390/ijerph20010356
5. Yoshiko Shiomitsu, Takumi Yamaguchi, Keiko Imamura, Tamami Koyama, Hitomi Tsuchihashi, Yuta Kawaoka, Yuko Matsunari. A Comparison of the Contents of Disaster Nursing Practices and Perceived Difficulties among Nurses Working at Welfare Evacuation Shelters during Natural Disasters and Multiple Disasters: A Qualitative Study, *Int J Environ Res Public Health* 2022; Dec 10;19(24):16610. DOI: 10.3390/ijerph192416610.

(和文論文)

1. 李慧瑛, 中尾優子. 発達障害学生に合理的配慮を提供する実習体制の構築—3・4年次生の臨地実習における支援—. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 32(1), 63–71, 2022.
2. 李慧瑛, 下高原理恵. 「看護関連」博士学位論文の歴史的変遷と課題 —CiNii Dissertations のテキストマイニング分析を通して—. 医療情報学, 42(1), 27–37. 2022.
3. 楠元裕佳, 八代利香: へき地医療拠点病院におけるへき地看護職への支援の実態と課題, 日本農村医学会雑誌, 70: 460–473, 2022.
4. 木下天翔, 田中久美子, 八代利香: 手術室看護師が経験する倫理的問題—文献的考察から—, 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 32: 73–79, 2022.3.
5. 園田和子, 松成裕子: 父親の職場における育児休暇等制度取得状況との1歳6か月児の母親の育児ストレスとの比較, 母性衛生63(1), 188–197. 2022.

## 業績目録

6. 小山珠美、山口拓充、金丸由美子、松成裕子：がん患者に対する看護職者の治療と就労の両立支援内容と困難感：文献レビュー。鹿児島大学医学部保健学科紀要, 32(1): 21-28. 2022.

### 【その他】

(報告書等)

1. 李慧瑛, 下高原理恵, 人新世. 看護人材育成. 18(6), 106-111. 2022.
2. 李慧瑛, 堀之内香織, 山崎奈津子. キャリアプランを描こう (前編). 臨床助産ケア, 14(4), 53-59. 2022.
3. 李慧瑛, 堀之内香織, 山崎奈津子. キャリアプランを描こう (後編). 臨床助産ケア, 14(5), 64-71. 2022.
4. 李慧瑛, 下高原理恵, 前野由加里, 直翔子. 合理的配慮に基づく発達障害学生への支援 (前編). 看護人材育成, 19(2), 99-104. 2022.
5. 李慧瑛, 下高原理恵, 前野由加里, 直翔子. 合理的配慮に基づく発達障害学生への支援 (中編). 看護人材育成, 19(3), 104-110. 2022.
6. 李慧瑛, 下高原理恵, 前野由加里, 直翔子. 合理的配慮に基づく発達障害学生への支援 (後編). 看護人材育成, 19(4), 55-64. 2022.
7. 李慧瑛, 野原久美子, 濱川光代. もう一步「112回看護師国家試験」に踏み込む. 看護人材育成, 19(5), 57-65. 2022.
8. 西尾育子, 高見利恵, 大学病院看護職員における大学教員の支援による看護研究支援システムの成果 令和元年度から令和2年度までの取り組み, 終末期がん患者が在宅療養を継続するうえで家族が支える要因. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 32(1): 55-62, 2022
9. 松成裕子：ワーキンググループ活動報告, WG-II「生命と暮らしへの影響」に関するワーキンググループ. 鹿児島大学 地震火山地域防災センター令和3年度報告書, 21-24. 2022.

### 【学会発表】

(国際学会)

1. Nishio, I., Nishimoto, D., Chujo, M., Ueda, A., Factors Associated with Glycemic Control in Adult Patients with Type 2 Diabetes Mellitus, 25th East Asian Forum of Nursing Scholars, 2022年4月 (Taipei, online)
2. Nishio, I., Nishimoto, D., Yamashita A., Factors Associated with the Lifestyle Behavioral and Mental Health Outcomes in Middle-Aged Individuals Experiencing Menopausal Symptoms in Japan during the COVID-19 Pandemic, 7th International Nursing Research Conference of World Academy of Nursing Science (WANS), 2022年10月 (Taipei, online)
3. Nao Horinouchi, Namiko Taira, Natsumi Abe, Mao Sezaki, Moeka Makinsumi, Rika Yatsushiro, Chihoko Tabata, Akiko Mizuta: Changes in Residents' Consciousness and Behavior due to Occurrence of COVID-19 Clusters on a Remote Island, 6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing, 2022年1月 (online)
4. Akiko Mizuta, Chihoko Tabata, Rika Yatsushiro: Community Health Care of Public Health Nurses in Response to the COVID-19 Clusters on Remote Islands, 6th International Conference of Global Network of Public Health Nursing, 2022年1月 (online)

(国内学会)

1. 西本大策, 兒玉慎平, 下敷領一平, 指宿りえ, 根路銘安仁, 西尾育子, 嶽崎俊郎. 看護師におけるバーンアウトとレジリエンスに対する介入試験後の変化に関する研究, 第81回日本公衆衛生学会総会, 2022年10月 (オンライン, 山梨)
2. 堂山晃希, 西村広宣, 宮司健一, 佐崎綾花, 櫛山夕季, 市川善実, 山田優子, 下高原理恵, 李慧瑛. 火災初期対応を経験したICU看護師の思いと心理的特徴. 日本災害看護学会, 第24回年次大会, 2022年9月3日, 高知 (Web開催).
3. 清水佐智子, 宇多雅, 吉田智美, 大学病院・一般病院・過疎地の看護師のがん性疼痛緩和ケアにおける知識や実践の実態と関連要因一卒前・卒後教育に焦点を当てて一, 第36回日本がん看護学会学術集会, 2021年2月 (横浜)
4. 田中久美子, 八代利香. 地域の病院におけるシミュレーション教育. 日本看護研究学会第48回学術集会, 2022年8月27日~28日 (オンライン)
5. 木下天翔, 八代利香, COVID-19禍に関する手術室看護師が抱える倫理的問題. 日本看護倫理学会第15回年次大会, 2022年5月28日~29日 (オンライン)
6. 下吹越直子, 八代利香, 在留外国人高齢者が介護を受けることを阻害している要因. 日本看護倫理学会第15回年次大会, 2022年5月28日~29日, 沼津市

## 業 績 目 録

7. 山口拓允, 山田由美子, 後藤あや, 松成裕子: 看護職におけるリスクコミュニケーションを考える, 日本放射線看護学会第11回学術集会, 交流集会, 立川市, Online 2022年9月17日
8. 大石景子, 佐藤裕美子, 松成裕子, 新川哲子, 浦田秀子: 放射線診療における困難事例に関する検討会 第4回, 日本放射線看護学会第11回学術集会, 交流集会, 立川市, Online 2022年9月18日
9. 南綾乃, 松成裕子: 超急性期・亜急性期における災害拠点病院と看護師の役割, 日本災害看護学会第24回学術集会, 高知市, Online 2022年9月3日
10. 増満誠, 松枝美智子, 日高艶子, 桃井雅子, 山崎律子, 村島正俊, 松成裕子, 久保田千景, 前田愛, 脇崎裕子: 九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会の1年間の歩みと今後の課題の検討, 第42回日本看護科学学会学術集会, 交流集会, 広島市, 2022年12月3日
11. 松成裕子, 松枝美智子, 増満誠, 本武敏弘, 江上史子, 永野佳世, 前田愛, 不動寺美紀: 高度実践看護師の更なる活用と活動の促進を目指して: 九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会の試み, 第42回日本看護科学学会学術集会, 交流集会, 広島市, 2022年12月4日

### 【その他】

(研修会等)

1. 李慧瑛, ファシリテーションの基本, 鹿児島大学病院看護部, 指導力向上研修, 2022年9月(鹿児島市)
2. 山口さおり, 看護過程概論, 令和3年度看護職対象研修「看護実践のプロセスII」, 鹿児島大学病院看護部, 2022年6月(鹿児島市)
3. 清水佐智子, 総評 看護研究を〇〇する!, 第55回鹿児島県保健看護研究学会, 鹿児島県看護協会, 2022年1月(鹿児島市)
4. 清水佐智子, 令和3年度若手教員研修会講師, 一学習者中心の学習環境デザインを考える一, 鹿児島大学, 2022年2月(Web)
5. 清水佐智子, 令和4年度実習指導者講習会, 実習指導の意義と目的, 評価の実際, 鹿児島県看護協会, 2022年1月, 12月(鹿児島市)
6. 清水佐智子, ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム講師・ファシリテーター, 日本緩和医療学会, 2022年2月, 9月(Web)
7. 清水佐智子, ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラムフォローアップ研修ファシリテーター, 日本緩和医療学会, 2022年12月(Web)
8. 清水佐智子, 令和4年度実習指導者講習会 実習評価の意義と目的, 鹿児島県看護協会, 2022年12月(鹿児島市)
9. 清水佐智子, 令和4年度鹿児島県がん診療拠点機能強化事業「ELNEC-J コアカリキュラム2022看護師教育プログラム」, 鹿児島大学病院, 12月(鹿児島市)
10. 西尾育子, 高度実践教育に向けた看護学における取り組みの紹介, 第3回高木兼寛記念シンポジウム, Online 2022年9月9日
11. 西尾育子, 第15回鹿児島県がん看護研究会年次大会, 「いま, コロナ禍の中で大切にしたいがん看護のこころ」開催, 2021年10月2日(鹿児島市)
12. 西尾育子, 第8回鹿児島1型糖尿病 YOUNG の会—1型糖尿病セミナー グループディスカッション(ファシリテーター), 2022年12月4日(鹿児島市, Web開催)
13. 八代利香, 2021年度米韓とのCOIL 授業: 離島でのバーチャル家庭訪問を教材としたヘルスアセスメント教育, 鹿児島大学国際シンポジウム, 2022年3月10日(オンライン)
14. 八代利香, 手術看護の倫理を考える, 第40回日本手術看護学会九州地区大会特別講演, 2022年9月3日(オンライン)
15. 八代利香, 大学の世界展開力強化事業 島嶼へき地医療コース, 鹿児島大学国際シンポジウム, 2022年12月3日(鹿児島市)
16. 八代利香, 看護論Ⅲ 倫理的配慮と対応方法, 公益社団法人鹿児島県看護協会令和4年度実習指導者講習会, 2022年12月9日(鹿児島市)
17. 松成裕子, 鹿児島市第52回桜島火山爆発総合防災訓練 体験型訓練指導, 2022年1月(鹿児島市)
18. 松成裕子, 鹿児島県第1回桜島火山防災連絡会 図上訓練, 2022年9月(鹿児島市)
19. 松成裕子, 令和3年度防災・日本再生シンポジウム「桜島大規模噴火時の降灰による地域社会への被害想定と減災対策」講演, 2021年12月(鹿児島市)
20. 松成裕子, 第3回九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会理事会・第2回総会: 講演: 研究何でも相談サロン「」: Online 2022年3月6日
21. 松成裕子, 鹿児島市主催「原子力防災訓練に役立てたい知識について」講演会, 2021年11月(鹿児島市)

## 業績目録

22. 松成裕子, 鹿児島市主催「原子力防災訓練に役立てたい知識について」講演会, 2022年1月(鹿児島市)

(その他の活動)

1. 西尾育子, 大学院教育改革の推進に向けた創意工夫ととりくみ, 2021年度鹿児島大学経営戦略経費(学長裁量経費)事業, Online 2022年2月14日
2. 西尾育子, 赤崎安昭, 八代利香, 根路銘安仁, 山下亜矢子, 山本直子, 佐々木八千代, グローカルな視点を取り入れた教育の発展を目指して, 第1回高木兼寛記念看護教育懇談会, Online 2022年9月9日
3. 八代利香, 大学教員へのインタビュー, 伊集院高校課題研究活動(2年生4名), 2022年8月10日(鹿児島市)
4. 八代利香, 日本放射線看護学会第11回学術集会 教育講演座長, 2022年9月17日(オンライン)
5. 松成裕子, いのちと地域を守る防災学Ⅱ」の1コマを使い, 講師: 公益財団法人 原子力安全研究協会 放射線災害医療研究所 山口拓允先生の講演「放射線に係る健康影響等に関するリスクコミュニケーション」をコーディネート
6. 松成裕子, 環境省・鹿児島大学地域防災教育研究センター共催「保健師を対象とした放射線に関する研修会」総合同会, 2021年12月(鹿児島市)
7. 松成裕子, 環境省・鹿児島県診療放射線技師会・鹿児島大学地域防災教育研究センター共催「放射線に関する研修会」総合同会, 2021年12月(鹿児島市)
8. 松成裕子, 第1回九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会設立記念講演・シンポジウム  
テーマ: 高度実践看護師としての役割開発の経験知の共有, サブテーマ: 臨床で活用される APN になるために私が行ってきたこと, そしてこれから, 座長, : Online 2021年11月28日
9. 松成裕子, 第1回九州・沖縄高度実践看護師活動促進協議会設立記念講演・シンポジウム開催, 協議会理事, Online 2021年11月28日

(成育看護学講座)

【論著書】

(英文論文)

1. Yodogawa T, Nerome Y, Tokunaga J, Hatano H, Marutani M. Effects of food neophobia and oral health on the nutritional status of community-dwelling older adults. *BMC Geriatrics*22(1): 334, 2022
2. Amitani M, Amitani H, Suzuki H, Kawazu S, Mizuma K, Yamaguchi K, Okii T, Nitta H, Sonoda T, Kawano K, Tanaka Y, Uto N, Ibusuki R, Arita R, Takayama S, Mitsuma T, Takezaki T, Asakawa A, Owaki T. Application of objective structured clinical examination (OSCE) for the evaluation of Kampo medicine training. *BMC Med Educ.* 2022 Mar 25; 22(1): 202. doi: 10.1186/s12909-022-03264-3.
3. Nishimoto D, Imajo M, Kodama S, Shimoshikiryō I, Ibusuki R, Nerome Y, Takezaki T, Nishio I. The Effects of Resilience and Related Factors on Burnout in Clinical Nurses, Kagoshima, Japan. *Yonago Acta Medica*65(2): 148–159, 2022
4. Fukiko Yamada, Yaeko Kataoka, Mariko Minatani, Ayako Hada, Mikiyo Wakamatsu, Toshinori Kitamura, The NVP QOL Questionnaire: Psychometric properties of the self-report measure of health-related quality of life for nausea and vomiting during pregnancy, *Psychiatry and Clinical Neurosciences Reports*, 1: e, 21, 1–9, 2022
5. Ayako Hada, Mariko Minatani, Mikiyo Wakamatsu, Toshinori Kitamura, Disability during Early Pregnancy: Using the Sheehan Disability Scale during the First Trimester in Japan, *Healthcare*, 10, 2514, 1–9. 2022

(英文著書)

1. 八代利香, 水田明子, 松田史代, 井上和博, 木山良二, 山本直子, 窪田正大, 田中久美子, 牧迫飛雄馬, 中尾優子, 赤崎安昭: チーム医療におけるルーラルヘルスケアー黒島を訪ねてー: Visiting Kuroshima Island ~ Home Visit to a Remote Island ~ (日本語・韓国語・英語版DVD), 東京サウンドプロダクション, 2022.

(和文論文)

1. 沖利通, 内田那津子, 唐木田智子, 崎濱ミカ, 沖知恵, 小林裕明, 網谷真理恵, 網谷東方, 鈴木甫, 浅川 明弘, 月経随伴症状と漢方薬. 産婦人科漢方研究のあゆみ38: 71–79, 2022
2. 根路銘安仁, 東麻衣子, 渋谷真由美, 河野義文. 鹿児島県小児人口動態調査結果から抽出された小児死亡検証制度導入の課題.

## 業績目録

小児保健かごしま34: 20-26, 2022

3. 萬歳優美, 中尾優子, 田中一枝, 宮田美波, 周産期に触知する乳房のしこりに対する助産師の意識とその背景, 母性衛生 62(2): 656-665, 2022
4. 水野昌美, 中尾優子, 海外文献から見えてくる日本での Baby-led weaning の実践とその後の普及に対する一考察, 日本健康学会誌 88(4): 150-159, 2022
5. 福留遥香, 根路銘安仁, 鹿児島県の出産施設のない離島における出産費用負担を含む現状評価からの望ましい支援, 母性衛生 63(1): 206-215, 2022
6. 水谷真央, 井上尚美, 沖利通, 助産師のキャリアを積み重ねてきた思い～ベテラン助産師の語りから～, 母性衛生 63(2): 514-522, 2022
7. 脇田天希, 若松美貴代, 周産期喪失を体験した母親が看護職によるケアや関わりをとおして抱く思いに関する文献研究, 鹿児島大学医学部保健学科紀要32(1): 2022
8. 李慧瑛, 中尾優子, 発達障害学生に合理的配慮を提供する実習体制の構築 3・4学年次生の臨地実習における支援, 鹿児島大学医学部保健学科紀要32(1): 63-71, 2022
9. 野中由希子, 山崎雄一, 久保田知洋, 根路銘安仁, 今中啓之, 武井修治, 当科の小児期発症リウマチ性疾患患者における移行期医療の現状, 小児リウマチ12(1): 58-64, 2022

(和文著書)

1. 沖利通, 【多嚢胞性卵巣症候群の最新知見～生涯にわたる健康管理を見据えて～】多嚢胞性卵巣症候群とアンドロゲン過剰症(解説), 産婦人科の実際71(9): 967-974, 2022
2. 根路銘安仁, HTLV-1 母子感染予防での小児保健関係者の役割, 小児保健研究81(3): 189-197, 2022
3. 井上尚美, 大平光子他編 看護学テキスト NiCE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 母と子そして家族へのよりよい看護実践 改訂第3版, 第Ⅱ章分娩期の看護131-231, 第Ⅶ章453-461, 第Ⅷ章449-505, 南江堂, 2022
4. 若松美貴代, 大平光子他編 看護学テキスト NiCE 母性看護学Ⅱ マタニティサイクル 母と子そして家族へのよりよい看護実践 改訂第3版, 第Ⅴ章特別な配慮・支援を必要とする妊産褥婦への支援351-367, 南江堂, 2022

### 【学会発表】

1. 根路銘安仁, 水野昌美, 井上尚美, 若松美貴代, 田中一枝, 統計資料からみた2008年から2019年まで鹿児島県における20歳未満の妊娠状況の推移と全国との比較, 第69回日本小児保健協会学術集会, 2022年6月(三重, オンライン)
2. 園田和子, 小山記代子, 山本弘恵, 小川有希子, 名村駿佑, 松成裕子, 根路銘安仁, 西地令子, 後ろ向き Web 調査による妊娠期における低出生体重児(LBWI)の出産リスク評価尺度の作成, 第69回日本小児保健協会学術集会, 2022年6月(三重, ハイブリッド)
3. 水野昌美, 根路銘安仁, 種子島における3歳児健診でのSVS検査の状況, 第35回鹿児島県小児保健学会, 2022年8月(鹿児島市)
4. 山田紗季, 水野昌美, 山本直子, プレパレーションの観点からみた採血・点滴時の看護師の関りと実施方法の文献検討, 第35回鹿児島県小児保健学会, 2022年8月(鹿児島市)
5. 水野昌美, 根路銘安仁, 種子島における3歳児健診でのSVS検査の状況, 鹿児島大学保健医療研究会第15回合同研究発表会, 2022年9月(鹿児島市)
6. 尾辻真理子, 中尾優子, 小児科診療上で働く助産師の思い, 第63回日本母性衛生学会, 2022年9月(兵庫)

### 【講演】

1. 中尾優子, 研究テーマと研究デザインの設定, 鹿児島大学病院, 2022年6月(鹿児島市)
2. 中尾優子, 研究倫理, 鹿児島県看護協会, 2022年6～12月, (鹿児島市, オンデマンド)
3. 中尾優子, モチベーション管理と管理者の役割, 県立北薩病院, 2022年9月(伊佐市, オンライン)
4. 中尾優子, 授乳開始から卒乳までの支援, 佐賀大学助産師リカレント教育, 2022年10月(佐賀市, オンライン)
5. 根路銘安仁, 児童虐待について考えてみよう, 第9回セーフコミュニティ推進フォーラム, 2022年1月(鹿児島市)
6. 根路銘安仁, 鹿児島県の低出生体重児出生と妊娠前の体格や妊娠中の体重増加量(令和2年度), 鹿児島県産婦人科医会ブロック別研修会, 2022年1月(鹿児島市)

## 業 績 目 録

7. 根路銘安仁. 子どもと感染症. たいよう子ども劇場講演会. 2022年1月(鹿児島市)
8. 根路銘安仁. ヒトパピローマウイルス感染症の定期接種. 鹿児島県小児保健協会保健師向けセミナー. 2022年2月(オンデマンド)
9. 根路銘安仁. 鹿児島県の低出生体重児出生と妊娠前の体格や妊娠中の体重増加量(令和2年度). 令和3年度市町村及び保健所母子保健事業担当者研修会. 2022年2月(鹿児島市)
10. 根路銘安仁. 疾患の理解と応急処置～児童生徒に多い症状と考えられる疾患～. 令和4年度新規採用養護教諭研修第2回校外研修. 2022年5月(鹿児島市)
11. 根路銘安仁. 新生児・乳児のアセスメント. 鹿児島県助産師会教育委員会研修会. 2022年6月(鹿児島市)
12. 根路銘安仁. 未来の妊娠・出産を考えるきっかけづくり事業(鹿児島純心女子大学). 未来の妊娠・出産を考えるきっかけづくり事業. 2022年7月(薩摩川内市)
13. 根路銘安仁. 思春期世代に伝えたいこと～かごぶれホットラインの事業や母子保健からみえる現状課題～. 令和4年度性に関する指導推進委員会研修会. 2022年7月(鹿児島市)
14. 根路銘安仁. 子どもの虐待・ネグレクトと子育て支援. 親子つどいの広場なかもっち講話. 2022年8月(鹿児島市)
15. 根路銘安仁. 自分の妊娠・出産を考えるきっかけづくり #じぶんディレクション. 2022年10月(鹿児島市)
16. 根路銘安仁. 小児期からのNCD対策. JICA 課題別研修「島嶼地域における地域保健から学ぶ生活習慣病対策」. 2022年10月(鹿児島市)
17. 根路銘安仁. 子どもの成長・発達について. 霧島市障害者自立支援協議会医療的ケア児専門部会主催研修会. 2022年10月(霧島市)
18. 根路銘安仁. 自分の妊娠・出産を考えるきっかけづくり. ライフプランセミナー. 2022年10月(鹿児島市)
19. 根路銘安仁. 児童虐待に係る保健と福祉の連携について. 市町村児童福祉担当者・母子保健担当者合同研修会. 2022年11月(薩摩川内市)
20. 根路銘安仁. あなたはどんな未来が理想? 将来後悔しないために 未来の妊娠・出産を考えるきっかけづくり事業(鹿児島大学). 2022年12月(鹿児島市)
21. 山本直子. 子どもの睡眠について～ネンネトレーニングについてどう思いますか?～. 令和4年度 鹿児島市南部親子つどいの広場たっこりん 助産師講座2022年5月23日(鹿児島市)
22. 山本直子. 子どもが寝ない～今どきのママの悩みに寄り添うために～. 令和4年度 鹿児島市南部親子つどいの広場たっこりん 子育て支援者講習会. 2022年6月16日(鹿児島市)
23. 山本直子. 本学におけるカリキュラムの特徴. 3大学との交流の可能性. 第1回高木兼寛記念 看護教育懇談会. 2022年9月9日(WEB)
24. 山本直子. 医療的ケア児とその家族に対する支援. 佐賀県助産師リカレント教育知事業. 2022年10月4日(WEB)
25. 山本直子. おっぱい・ミルク・ごはんの話. 生見保育園主催喜入地区育児講座. 2022年12月12日.(鹿児島市)
26. 井上尚美. いのちの誕生について考える. 性に関する指導. 鹿児島市立桜丘中学校. 2022年2月(鹿児島市)
27. 井上尚美. 実習指導の原理. 鹿児島大学病院看護部研修. 2022年5月(鹿児島市)
28. 井上尚美. 保健指導・保健学習～性に関する課題と指導～. 鹿児島県総合教育センター 令和4年度新規採用養護教諭研修. 2022年10月(鹿児島市)
29. 井上尚美. 助産倫理. 公益社団法人鹿児島県看護協会 令和4年度新人助産師合同研修会. 2022年11月(鹿児島市)
30. 井上尚美. 助産師と倫理(オンライン). 佐賀県助産師リカレント事業. 2022年11月(鹿児島市)
31. 井上尚美. セクシュアリティ教育とは～国際的基準から考える～. 始良・伊佐地域振興局保健福祉環境部(始良保健所) 令和4年度始良・伊佐地域母子保健連携推進研修会. 2022年11月(霧島市)
32. 井上尚美. いのちの誕生 いのちについて考える. 鹿児島市立皇徳寺中学校 性に関する指導. 2022年12月(鹿児島市)
33. 井上尚美. 性に関する講話. 鹿児島大学教育学部附属中学校. 2022年12月(鹿児島市)
34. 井上尚美. 性に関する講話. 鹿児島市西紫原中学校 性に関する指導. 2022年12月(鹿児島市)
35. 井上尚美. 津留見美里. 萬歳優美. 性に関する講話. 鹿児島市坂元中学校 性に関する指導. 2022年12月(鹿児島市)
36. 若松美貴代. 質問票の聴き取り、対応について. 令和3年度鹿児島市産婦支援小児科連携事業研修会. 鹿児島市. 2022年2月(鹿児島市)
37. 若松美貴代. 妊産褥婦のこころの健康とその支援について. 令和3年度南九州市母子保健事業関係者研修会. 2022年3月(南九州市. オンライン開催)

## 業績目録

38. 若松美貴代、多胎児家族への支援、令和4年鹿児島市多胎妊産婦サポーター事業、2022年7月（オンデマンド）
39. 若松美貴代、令和4年度 看護研究セミナー 第3回 研究計画書の作成と倫理的配慮、鹿児島大学看護部、2022年8月（鹿児島市）
40. 若松美貴代、後輩指導・助産師教育、佐賀県助産師リカレント教育、2022年10月（オンデマンド）
41. 若松美貴代、児童虐待にかかる特定妊婦への支援について、市町村児童福祉担当者・母子保健担当者合同研修会、鹿児島県子ども家庭課、始良保健所、2022年11月（霧島市）
42. 若松美貴代、スクリーニングツール3つの質問票および包括的2項目質問票の使い方とポイント、令和4年度鹿児島市妊産婦メンタルヘルス小児科、産科医療機関合同研修会、2022年12月（鹿児島市）
43. 若松美貴代、産褥期のメンタルヘルス、令和4年度新人助産師研修会、鹿児島県看護協会、2022年12月（鹿児島市）

### 【その他】

（報告書）

1. 根路銘安仁、下敷領須美子、小杉純子、鹿児島県におけるHTLV-1母子感染対策の検討。厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））令和3年度分担研究報告書。
2. 根路銘安仁、第4章出生後の母子感染予防のための栄養方法の選択。鹿児島県におけるHTLV-1母子感染対策の検討。厚生労働科学研究費補助金（成育疾患克服等次世代育成基盤研究事業（健やか次世代育成総合研究事業））HTLV-1母子感染対策および支援体制の課題の検討と対策に関する研究 研究代表者 内丸薫、2022年11月

（表彰・受賞）

1. 中尾優子、日本助産師会会長賞受賞、2022年6月（東京都）
2. 根路銘安仁、令和3年度鹿児島大学医学部保健学科ベストティチャー賞受賞、鹿児島大学医学部保健学科、2022年4月
3. 根路銘安仁、ベスト看護学教員賞受賞、桜ヶ丘祭実行委員会、2022年11月

（座長等）

1. 中尾優子、座長、第63回日本母性衛生学会、2022年9月（神戸市）

（研修会等）

1. 中尾優子、看護研究発表会支援、鹿児島県立大島病院、2022年2月（奄美市）
2. 中尾優子、看護研究指導、鹿児島県立大島病院、2022年6月（奄美市）
3. 井上尚美、若松美貴代、水野昌美、津留見美里、萬歳優美、中尾優子、助産師・看護師の学ぶ力を伸ばす極意、鹿児島大学医学部保健学科看護学専攻成育看護学講座 公開講座、2022年6～9月（鹿児島市）
4. 中尾優子、教育課程（助産師）、鹿児島県看護協会講習会、2022年11月（鹿児島市）
5. 若松美貴代、水野昌美、めぐみ保育園職員研修会（事故防止や救命処置について）、2022年5月（鹿児島市）
6. 水野昌美、特別支援学校の教員等におけるたんの吸引等の研修：演習インストラクター、2022年8月（鹿児島市）

### 〔地域包括看護学講座〕

#### 【論文著書】

（和文著書）

1. 日隈利香、児童発達支援・放課後等デイサービス施設における災害への備え。災害と防災統計データ集2021、三冬社、第4章2、2022
2. 柳川洋、尾島俊之、北村邦夫、中村好一、阿江竜介、小佐見光樹、近藤今子、巽あさみ、内藤智義、中村美詠子、原岡智子、牧野伸子、水田明子、渡辺晃紀：保健指導ノート2023衆衛生の現状、（社）日本家族計画協会 東京。（担当：生活習慣病）2022
3. 宮田昌明、循環器系の仕組みと加齢変化。循環器系と健康長寿・フレイル対策（大石 充 編、先端医学社、東京）p.2-8、2022

## 業績目録

### (英文論文)

1. Tomomi Masumitsu, Takuro Kubozono, Masaaki Miyata, Hyuma Makizako, Takayuki Tabira, Toshihiro Takenaka, Shin Kawasoe, Akihiro Tokushige, Sayoko Niwa and Mitsuru Ohishi. Association of sleep duration and cardio-ankle vascular index in community-dwelling older adults. *J Atheroscler Thromb*, 29(12): 1864–1871, 2022
2. Yamashita A, Yoshioka S. Subjective recovery accounts of Japanese female patients suffering from alcohol use disorder. A phenomenological study. *Perspectives in Psychiatric Care*, 58(4): 2820–2827, 2022
3. Yamashita A, Nakajima T. Nursing Students' Use of Recovery Stories of People with Mental Illness in Their Experiences: A Qualitative Study. *Nursing Reports*, 12(3): 610–619, 2022
4. Nishimoto D, Imajo M, Kodama S, Shimoshikiryō I, Ibusuki R, Nerome Y, Takezaki T, Nishio I. The Effects of Resilience and Related Factors on Burnout in Clinical Nurses, Kagoshima, Japan. *Yonago Acta Med*, 65(2): 148–159, 2022
5. Nishimoto D, Kodama S, Nishio I, Makizako H, KU-OHL Project Team. Association between the Perception of Behavior Change and Habitual Exercise during COVID-19: A Cross-Sectional Online Survey in Japan. *Int J Environ Res Public Health*, 20(1): 356, 2022
6. Daisuke Furushima, Ibuki Sugiyama, Yuzuki Nomura, Keiko Unno, Hiroshi Yamada. Effect of combined ingestion of L-theanine and L-arginine for short-term psychological stress in young adults: A randomized placebo-controlled study. *Journal of Nutritional Science and Vitaminology*, 68(6): 540–546, 2022
7. Saori Abe, Ryo Onoda, Daisuke Furushima, Hiroshi Yamada, Yoshihiro Tamura, Kazutoshi Sayama. Detection of CCL25 and the Correlation Between CCL25, CCL28, IL-7, and TSLP in Human Breast Milk. *Journal of Reproductive Immunology*, 155(2023): 103783, 2022
8. Keiko Unno, Daisuke Furushima, Yuya Tanaka, Takeichiro Tominaga, Hirotomo Nakamura, Hiroshi Yamada, Kyoko Taguchi, Toshinao Goda, Yoriyuki Nakamura. Improvement of Depressed Mood with Green Tea Intake. *Nutrients*, 14(14): 2949–2949, 2022
9. Akasaki Y, Tabira T, Maruta M, Makizako H, Miyata M, Han G, Ikeda Y, Nakamura A, Shimokihara S, Hidaka Y, Kamasaki T, Kubozono T, Ohishi M. Social frailty and meaningful activities among community-dwelling older adults with heart disease. *Int J Environ Res Public Health*, 19(6): 15167, 2022
10. Kanda D, Miyata M, Ikeda Y, Tokushige A, Sonoda T, Arikawa R, Anzaki K, Kosedo I, Yoshino S, Takumi T, Ohishi M. The priority of Non-HDL-C assessment to predict new lesions among stable angina patients with strong statins. *J Atheroscler Thromb*, 29(6): 894–905, 2022
11. Kawasoe M, Kawasoe S, Kubozono T, Ojima S, Kawabata T, Ikeda Y, Oketani N, Miyahara H, Tokushige K, Miyata M, Ohishi M. Development of a risk prediction score for hypertension incidence using Japanese health checkup data. *Hypertens Res*, 45(4): 730–740, 2022
12. Yoshimoto I, Inoue K, Oketani N, Ichiki H, Okada M, Tanaka N, Hirao Y, Oka T, Tanaka K, Harada S, Onishi T, Koyama Y, Okamura A, Iwakura K, Fujii K, Miyata M, Ohishi M. Decrease in red cell distribution width as a useful predictor of success after catheter ablation for atrial fibrillation: a retrospective multi-center study. *Heart Vessels*, 37(1): 99–109, 2022.
13. Kawabata T, Kubozono T, Ojima S, Kawasoe S, Akasaki Y, Salim AA, Ikeda Y, Miyata M, Takenaka T, Ohishi M. Insufficient blood pressure control is independently associated with increased arterial stiffness. *Hypertens Res*, 45(12): 1861–1868, 2022
14. Kanouchi H, Yamashita M, Kaimoto K, Kuwabara A, Kawakami Y, Takenaka S, Koriyama C, Kuwahata S, Takenaka T, Akasaki Y, Kubozono T, Miyata M, Ohishi M. Association of blood pressure and dietary intake of Sunomono, Japanese vinegared side dishes, in community-dwelling Japanese: A cross-sectional study. *Heliyon*, 8: e09505, 2022
15. Shidou R, Kohjitani A, Miyata M, Yamashita K, Ohno S, Ohishi M, Sugimura M. Estimation of the risk of postoperative hypertension following minor to moderate surgery using an echocardiogram and biomarkers. *Int Heart J*, 63(3): 558–565, 2022

### (和文論文)

1. 佐々木八千代, 野田さおり, 白井みどり. 要支援高齢者の聞こえの自己評価と生活機能との関連. *日本健康医学会誌*, 30(4): 419–427, 2022
2. 古田栞菜, 佐々木八千代, 野田さおり, 白井みどり. With コロナの時代における地域在住高齢者の抑うつの有無とそれに関連する要因. *日本健康医学会誌*, 30(4): 449–458, 2022
3. 小西円, 佐々木八千代, 白井みどり. 尿意を表出できる施設入所高齢者の中途覚醒と夜間おむつ交換の関係. *日本老年看護学会誌*, 27(1): 37–45, 2022

## 業績目録

4. 佐々木八千代, 野田さおり, 白井みどり. 要支援高齢者の聴力と認知機能の関連に関するコホート研究. 日本健康医学会誌, 31(2): 230-234, 2022
5. 古田栞菜, 佐々木八千代, 野田さおり, 白井みどり, 新型コロナウイルス感染症の流行による地域在住高齢者の生活状況の変化の実態. 日本健康医学会誌, 31(2): 235-243, 2022
6. 梶谷さと子, 岡崎愉加, 山下亜矢子, 原直美. 月経が女子高校生の学校生活に与える影響と教育的支援の検討. 母性衛生, 62(4): 708-717, 2022
7. 中嶋貴子, 山下亜矢子, 久松美佐子. 精神看護学教育における当事者参加型授業による看護学生の学修成果. インターナショナル Nursing Care Research, 21(4), 19-28, 2022
8. 森隆子, 稻留直子, 兒玉慎平, 波多野浩道. シマ型フィールドワークが看護学生の創造性育成にもたらす効果: 学生レポートの記述分析から. 島嶼研究, 23(1): 33-51, 2022
9. 高田千春, 水田明子, 八代利香, 田畑千穂子. COVID-19クラスターが最初に発生した離島において保健師が捉えた住民の意識と行動の変化及び保健活動. 日本職業・災害医学会誌, 70(6): 222-227, 2022
10. 吉元洋子, 野崎尚子, 大谷みなみ, 小川美奈子, 吉村理恵子, 尾島俊之, 水田明子. 健康診査の継続受診に関連する要因: 鹿児島市民への調査結果から. 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 33(1), 2022
11. 中村洸友, 古島大資, 牧之瀬翔平, 梅垣敬三, 朝倉敬子, 神村裕子, 千葉剛, 山田浩. 健康食品製造販売事業者を対象とした健康食品の摂取に伴う有害事象の統一報告フォーマットの実用性調査. 臨床薬理, 53(3): 57-65, 2022

### 【学会発表】

(国際学会)

1. Tomomi Masumitsu, Masaaki Miyata, Sayoko Niwa, Takuro Kubozono, Mitsuru Ohishi. Association of long sleep duration and increased arterial stiffness in community-dwelling Japanese old adults. 25<sup>th</sup> East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, 2022年4月 (Taipei, Web 配信)
2. Hisamatsu M, Yamashita A, Suenaga M, Arai H. Understanding of Psychiatric Nurses of The Difficulties of People with Mental Disorders Living in Remote Islands without Psychiatric Hospitals, 25<sup>th</sup> East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) Conference, 2022年4月 (Taipei, Web 配信)
3. Yamashita A, Yoshioka S, Yajima Y. Resilience and Self-Disclosure Associated with Promoting the Recovery of Patients with Substance Use Disorder: A Cross-Sectional Study. The 7<sup>th</sup> International Nursing Research Conference, 2022年10月 (Taipei, Web 開催)
4. Suzuki C, Yamashita A. Thoughts of Elderly Women with a History of Repeated Theft. The 7<sup>th</sup> International Nursing Research Conference, 2022年10月 (Taipei, WEB 開催)
5. Akiko Mizuta, Chihoko Tabata, Rika Yatsushiro. Community health care of public health nurses in response to the COVID-19 clusters on remote islands. 6<sup>th</sup> International Conference of Global Network of Public Health Nursing, 2022年1月 (Osaka, Web 配信)
6. Nao Horinouchi, Namiko Taira, Natsumi Abe, Mao Sezaki, Moeka Makinsumi, Rika Yatsushiro, Chihoko Tabata, Akiko Mizuta. Changes in residents' consciousness and behavior due to THE OCCURRENCE OF COVID-19 clusters on a remote island. 6<sup>th</sup> International Conference of Global Network of Public Health Nursing, 2022年1月 (Osaka, Web 配信)

(国内学会)

1. 廣瀬彩音, 佐々木八千代, 秋山庸子, 白井みどり. 施設入所高齢者の車椅子からベッドへの移乗動作の特徴. 第31回日本健康医学会総会, 2022年10月 (東京)
2. 佐々木八千代, 古田栞菜, 野田さおり, 白井みどり. コロナ禍にある地域在住高齢者の生活状況. 第31回日本健康医学会総会, 2022年10月 (東京)
3. 白井みどり, 佐々木八千代, 秋山庸子. 要介護高齢者の座位からの転落に対する施設職員の認識. 第31回日本健康医学会総会, 2022年10月 (東京)
4. 益満智美, 宮田昌明, 丹羽さよ子, 牧迫飛馬雄, 田平隆行, 窪菌琢郎, 川添 晋. 地域在住高齢者における睡眠時間と血管硬化度との検討. 第54回日本動脈硬化学会, 2022年7月 (福岡, Web 配信)
5. 田平隆行, 池田由里子, 益満智美, 大重匡, 牧迫飛馬雄, Kagoshima University Online Health Laboratory (KU-OHL). 高齢者の趣味活動およびその満足度と主観的認知障害との関連. 第56回日本作業療法学会, 2022年9月 (京都, Web 配信)
6. 長野和人, 安藤あき, 今川美紗希, 重平悠菜, 高嶺夕美, 東園奈々, 山田優子, 山下亜矢子. COVID-19による面会制限下

## 業 績 目 録

- で導入したICUダイアリーを作成する看護師の体験. 第49回日本集中治療医学会学術集会, 2022年3月(仙台、Web配信)
7. 久松美佐子, 山下亜矢子, 末永真由美, 前田則子, 根路銘安仁. 精神科病院のない離島の精神障害者の生活を支援する多職種の困難. 第63回日本社会医学会総会, 2022年8月(名古屋、Web配信)
  8. 永吉郁仁, 内野由梨, 宮田圭, 山崎恵子, 久松美佐子, 山下亜矢子. 精神科病棟における誤嚥性肺炎から敗血症へと移行した患者に対する急変時の看護体験. 令和4年度日本精神科看護協会鹿児島支部第7回研修会(看護研究発表会), 2022年10月(鹿児島市、Web配信)
  9. 梶谷さとこ, 岡崎愉加, 山下亜矢子, 原直美, 妹尾奈月, 月経痛が女子高校生の学校生活に与える支障. 日本学校保健学会第68回学術大会, 2022年11月(和歌山、Web配信)
  10. 山下亜矢子, 久松美佐子, 中嶋貴子. アルコール使用障害を有する若年層の女性を対象とした教材の実用可能性の検証. 第42回日本看護科学学会学術集会, 2022年12月(広島、Web配信)
  11. 中嶋貴子, 山下亜矢子. 精神看護学教育におけるリカバリー志向に関する学修成果～当事者参加型授業を導入して～. 第42回日本看護科学学会学術集会, 2022年12月(広島、Web配信)
  12. 落瞳, 釘崎春佳, 藤崎有希, 田中加奈, 大神貴子, 塗木さゆり, 兒玉慎平. 特定機能病院におけるアドバンス・ケア・プランニングの実態調査. 第36回日本がん看護学会学術集会, 2022年2月(神奈川、Web配信)
  13. 窪里乃, 横山弥生, 山口京子, 武元麻貴, 床次麻希, 伊地知陸美, 兒玉慎平. 出生後24時間の体温較差が低出生体重児の成長発達に与える影響について. 日本集中治療医学会第6回九州支部学術集会, 2022年7月(鹿児島市)
  14. 兒玉慎平, 上床太心, 郡山千早. 保健師のマンパワーの変化と標準化死亡比の経験的ベイズ推定量の変化の関係. 第81回日本公衆衛生学会総会, 2022年10月(山梨、Web配信)
  15. 西本大策, 兒玉慎平, 下敷領一平, 指宿りえ, 根路銘安仁, 西尾育子, 嶽崎俊郎. 看護師におけるバーンアウトとレジリエンスに対する介入試験後の変化に関する研究. 第81回日本公衆衛生学会総会, 2022年10月(山梨、Web配信)
  16. 日隈利香. 九州管内の児童発達支援・放課後等デイサービス施設における災害への取り組みに関する研究. 日本発達障害学会第57回研究大会, 2022年12月(Web配信)
  17. 水田明子, 尾島俊之. 緊急事態宣言下における小学生の保護者の主観的健康感に関連する要因. 第32回日本疫学会学術総会, 2022年1月(千葉、Web配信)
  18. 水田明子, 加藤美保子, 岡本玲子, 尾島俊之. 保健師が行う在留外国人に対する保健指導. 第10回日本公衆衛生看護学会学術集会, 2022年1月(大阪、Web配信)
  19. 水田明子, 尾島俊之. 緊急事態宣言下における保護者の主観的健康感と小学生の生活状況との関連. 第81回日本公衆衛生学会, 2022年10月(山梨、Web配信)
  20. 高田千春, 吉住嘉代子, 水田明子. 公衆衛生看護学実習における精神保健活動の学習効果を高める試み. 第11回日本公衆衛生看護学学術集会, 2022年12月(仙台、Web配信)
  21. 古島大資, 大竹佑, 森卓也, 平間結衣, 大西慎太郎, 小池夏未, 山本真土, 中島雄, 山田浩. 緑茶カテキンのヒトにおける口腔内滞留挙動に関する検討. 第76回日本栄養・食糧学会学術集会, 2022年5月(兵庫)
  22. 田中雄也, 海野けい子, 古島大資, 中村洗友, 富永健一郎, 中村順行, 山田浩. 緑茶成分の心理的ストレス及び睡眠に与える影響: ランダム化比較試験による検討. 第6回日本臨床薬理学会東海・北陸地方会, 2022年7月(名古屋、Web配信)
  23. 大石晋平, 古島大資, 清水雅之, 西岡拓哉, 山田浩. 新規開発した服薬記録器による服薬指導の試み: 排便コントロールを目的とした探索的な有用性評価. 第6回日本臨床薬理学会東海・北陸地方会, 2022年7月(名古屋、Web配信)
  24. 大河内彩子, 何慕, 金森弓枝, 谷川千春, 高本佳代子, 古島大資. コロナ禍の復興を経験した熊本地震女性被災者の生活状況と抑うつとの関連. 第81回日本公衆衛生学会総会, 2022年10月(山梨、Web配信)
  25. 蒔田篤則, 榎谷佳那子, 古島大資, 辻大樹, 渡邊慎也, 山田浩. ハイリスク薬の処方薬局薬剤師業務時間および患者の待ち時間に与える影響. 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2022, 2022年11月(静岡)
  26. 中村洗友, 赤澤壮太, 櫻井護, 古島大資, 牧之瀬翔平, 富永健一郎, 天野進吾, 山田浩. 保険薬局における健康食品利用者からの安全性情報に関わる相談の調査. 日本病院薬剤師会東海ブロック・日本薬学会東海支部合同学術大会2022, 2022年11月(静岡)
  27. 生川誉紹, 富永健一郎, 中村孝博, 古島大資, 山田浩. 緑茶うがいによる急性上気道炎予防: ランダム化比較試験による濃度依存性の検討. 第43回日本臨床薬理学会学術総会, 2022年11月(神奈川)
  28. 川添真理子, 川添 晋, 窪菌琢郎, 小島聡子, 川畑孟子, サリム アンワー, 桶谷直也, 池田義之, 宮原広典, 徳重浩一, 宮田昌明, 大石 充. Development of a risk prediction score for hypertension incidence using Japanese health checkup data. 第86回日本

## 業績目録

循環器学会学術集会, 2022年3月 (Web開催)

29. Yoshimoto I, Ichiki H, Miyata M, Kamada H, Ninomiya Y, Iriki Y, Ikeda Y, Ohishi M. Pre-operative cardio-ankle vascular index is a predictor of left atrial reverse remodeling after catheter ablation for atrial fibrillation. 第68回日本不整脈心電学会学術大会, 2022年6月 (神奈川県)
30. 宮田昌明, 宮下和久. 特別報告2. 温泉のユネスコ無形文化遺産登録に向けて. 日本温泉気候物理医学会からの提言と期待. 第87回日本温泉気候物理医学会総会・学術集会, 2022年7月 (長野県)
31. 宮田昌明, 安楽香奈子, 丸口由紀子, 前田千穂. メディカルスタッフカンファレンス. 高血圧と糖尿病を合併した肥満患者の生活習慣改善と食事療法. 第54回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2022年7月 (福岡, Web発信)
32. 徳重明央, 宮田昌明, 池田義之, 大石 充. シンポジウム9. Polyvascular Atherosclerotic Disease のトピックス. 透析症例における動脈硬化: Insight from KIDS レジストリー. 第54回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2022年7月 (福岡, Web発信)
33. 森 隆子, 宮田昌明, 窪菌琢郎, 稻留直子, 川添 晋, 宮原広典, 徳重浩一, 大石 充. 日本人における動脈硬化性疾患リスクに対する上腕・足首脈波伝播速度 (baPWV) のカットオフ値の検討. 第54回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2022年7月 (福岡, Web発信)
34. 梶谷 淳, 宮田昌明, 大石 充. 心エコー図検査とバイオマーカーを用いた歯科・口腔外科手術後の異常高血圧発症リスクの評価. 第54回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2022年7月 (福岡, Web発信)
35. 吉元一成, 市来仁志, 鎌田博之, 二宮雄一, 入来泰久, 池田義之, 宮田昌明, 大石 充. 頻回の再発に対して3回目のアブレーション施行後に重度の急性胃拡張を発症した持続性心房細動の一例. 第70回日本心臓病学会学術集会, 2022年9月 (京都)
36. 宮田昌明, 池田義之, 鄭 忠和. シンポジウムI 慢性心不全に対する和温療法. 和温療法の心不全に対する効果発現機序. 第1回和温療法学会, 2022年11月 (東京)

### 【講演】

1. 佐々木八千代, 実習指導方法論 (老年看護). 公益社団法人鹿児島県看護協会 令和4年度実習指導者講習会, 2022年12月 (鹿児島市)
2. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島県支部, 支部研修会 看護研究研修会① 講師, 2022年5月 (Web配信)
3. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島県支部, 支部研修会 看護研究研修会② 講師, 2022年7月 (Web配信)
4. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島県支部, 支部研修会 看護研究研修会③ 講師, 2022年9月 (Web配信)
5. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会 鹿児島県支部, 支部研修会 看護研究研修会 講師・講師, 2022年10月 (Web配信)
6. 山下亜矢子. 鹿児島大学病院看護部, 新人基礎研修, 2022年7月 (鹿児島市)
7. 兒玉慎平. 看護研究の基礎的知識～看護研究の概念化～. 鹿児島県訪問看護ステーション協議会第22回研究発表会, 2022年2月 (鹿児島市)
8. 兒玉慎平. 文献検索演習: 文献検索完全マスター実践編. 鹿児島大学病院看護部令和4年度看護研究研修, 2022年7月 (鹿児島市)
9. 兒玉慎平. レポートの書き方. 鹿児島県看護協会 認定看護管理者制度ファーストレベル講習, 2022年8月 (鹿児島市)
10. 水田明子. 講演Ⅲ コロナ禍の経験を踏まえた保健活動. 令和4年度九州ブロック保健師等研修会, (財)日本公衆衛生協会, 鹿児島県, 2022年8月 (Web配信)
11. 水田明子. 令和4年度認定看護管理者ファーストレベル教育 ヘルスケアシステム論Ⅰ 社会保障制度概論. 鹿児島県看護協会, 2022年8月 (Web配信)
12. 水田明子. 令和4年度認定看護管理者サードレベル教育 ヘルスケアシステム論Ⅲ ヘルスケアサービスの創造. 鹿児島県看護協会, 2022年8月 (鹿児島市)
13. 水田明子. 令和4年度実習指導者講習会 看護教育課程保健師 鹿児島県看護協会, 2022年11月 (鹿児島市)
14. 宮田昌明. COVID-19と循環器疾患: ワクチンの副反応も含めて. 鹿児島県内科医会 保険診療講習会, 2022年2月 (Web配信)
15. 宮田昌明. 高血圧診療の課題とその解決方法. 枕崎市医師会学術講演会, 2022年3月 (Web発信)
16. 宮田昌明. 厳格な降圧療法の新機軸. 世界高血圧デーにエンレストを考える, 2022年5月 (Web発信)
17. 宮田昌明. 心不全診療のアップデート. 日向市東臼杵郡医師会学術講演会, 2022年8月 (宮崎, Web配信)
18. 宮田昌明. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版改訂のポイント. 脂質の未来を考える: 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022. 2022年9月 (Web配信)

## 業績目録

19. 宮田昌明. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版改訂のポイント. 十勝病院薬剤師会学術講演会, 2022年10月 (Web 配信)
20. 宮田昌明. 高血圧におけるエンレスト使用のコツ. 新しい高血圧治療戦略を考える, 2022年10月 (Web 配信)
21. 宮田昌明. ガイドラインに則した脂質異常症の診療: 2022年版改訂を踏まえて. 第492回始良地区内科医会学術講演会, 2022年11月 (国分市, Web 配信)
22. 宮田昌明. ガイドラインに則した脂質異常症の診療: 2022年版改訂を踏まえて. 宮崎県内科医会学術講演会, 2022年11月 (宮崎, Web 配信)
23. 宮田昌明. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン2022年版改訂のポイント. 第4回 CVD Management Consensus Meeting in Kagoshima, 2022年12月 (Web 配信)

### 【その他】

(報告書等)

1. 山下亜矢子, 久松美佐子. 看護学生の精神障害者に対するリカバリー志向を推進する Web 版学修プログラムの開発と検証. 公益財団法人日本健康アカデミー 健康知識・教育に係る公募助成金事業 成果報告書, 2022年3月
2. 山下亜矢子. 鹿児島大学 心身ともに充実した学修生活を支えるための健康支援システムの構築. Challenge! 国立大学『みんなで支えるキャンパスライフ』, 国立大学, 3, 2022
3. 日隈利香. 東日本大震災被災3県 (岩手県, 宮城県, 福島県) の児童発達支援・放課後等デイサービス施設における災害への備えに関する研究. 鹿児島大学地震火山地域防災センター令和3年度報告書, 117-122, 2022年3月
4. 石川祥子. 特集 多職種連携による透析医療 3. 透析医療における多職種連携一職種別の役割 (6) 地域医療における保健師の役割. 臨床透析38(3): 278-282, 2022
5. Kawasoe M, Kawasoe S, Kubozono T, Ojima S, Kawabata T, Ikeda Y, Oketani N, Miyahara H, Tokushige K, Miyata M, Ohishi M. Reply to "Oversimplified scoring system may compromise its utility as a predictive model for the development of hypertension". Hypertens Res, 2022; 45(6): 1089-1090, 2022
6. 宮田昌明. ①心不全の定義とそのリスクの進展ステージ. 日本高血圧学会 患者さん向け説明シート「心不全の基礎知識」2-3, 2022
7. 宮田昌明. ②心不全の主な原因疾患. 日本高血圧学会 患者さん向け説明シート「心不全の基礎知識」24-5, 2022
8. 宮田昌明. ③心不全の分類 (左室駆出率による心不全の分類). 日本高血圧学会 患者さん向け説明シート「心不全の基礎知識」6-7, 2022
9. 宮田昌明. ④心不全の診断 (BNP と NT-proBNP 値による心不全の診断). 日本高血圧学会 患者さん向け説明シート「心不全の基礎知識」8-9, 2022
10. 宮田昌明. ⑤心不全の早期発見. 日本高血圧学会 患者さん向け説明シート「心不全の基礎知識」10-11, 2022
11. 宮田昌明. ⑥心不全の増悪予防. 日本高血圧学会 患者さん向け説明シート「心不全の基礎知識」12-13, 2022
12. 宮田昌明. ⑩正しい血圧の測定方法. 日本高血圧学会 患者さん向け説明シート「心不全の基礎知識」20-21, 2022

(座長等)

1. 宮田昌明. 第18回 Cardiovascular Translational Research Conference, 2022年2月. (Web 発信)
2. 宮田昌明. 第86回日本循環器学会学術集会, 2022年3月. (Web 配信)
3. 宮田昌明. 第28回日本心臓リハビリテーション学会学術集会, 2022年6月. (沖縄, Web 開催)
4. 宮田昌明. 第54回日本動脈硬化学会総会・学術集会, 2022年7月. (福岡)
5. Miyata M. The 29th Scientific Meeting of the International Society of Hypertension (ISH2022), 2021年10月. (Kyoto)
6. 宮田昌明. 第8回日本心臓リハビリテーション学会九州支部地方会, 2022年11月. (宮崎)
7. 宮田昌明. 第1回和温療法学会, 2022年11月. (東京)
8. 宮田昌明. 第133回日本循環器学会九州地方会, 2022年12月. (福岡, Web 配信)

(研修会等)

1. 益満智美. 喀痰吸引等研修 (第三号研修: 特定の者対象). 2022年3月 (鹿児島市)
2. 益満智美. 喀痰吸引等研修 (第三号研修: 特定の者対象). 2022年6月 (鹿児島市)
3. 益満智美. 喀痰吸引等研修 (第三号研修: 特定の者対象). 2022年8月 (天城町)

## 業績目録

4. 益満智美, 白橋有人. 令和4年度特別支援学校の教員等によるたんの吸引等の研修(特定の者対象). 2022年8月(鹿児島市)
5. 山下亜矢子. 放送大学鹿児島学習センター, 公開講座, 2022年11月(Web配信)
6. 山下亜矢子. 放送大学, 所属学生に対する卒業研究指導, 2022年4月より毎月
7. 山下亜矢子. 一般社団法人日本精神科看護協会鹿児島県支部, 研究論文査読, 2022年9月
8. 山下亜矢子. 鹿児島市医師会病院看護研究指導, 2022年5月より毎月
9. 山下亜矢子. 鹿児島大学病院看護部看護研究指導, 2022年4月より毎月
10. 水田明子. 令和3年度地域保健従事者現任教育推進事業における新任期保健師の臨地研修報告会助言者, 2022年1月(Web配信)
11. 水田明子. 第64回鹿児島県公衆衛生学会発表審査委員, 2022年5月(Web配信)
12. 水田明子. 令和3年度第2回鹿児島市看護職員確保対策検討会委員, 2022年2月22日, 10月14日(鹿児島市)
13. 水田明子. 活動報告コーディネーター コロナ禍の経験を踏まえた保健活動, 令和4年度九州ブロック保健師等研修会, 財)日本公衆衛生協会, 鹿児島県, 2022年8月(Web配信)
14. 水田明子, 古島大資. 一般社団法人全国保健師教育機関協議会九州ブロック委員長 令和4年度定例会及び研修会, 2022年10月(Web配信)
15. 水田明子, 古島大資. 第37回全国保健師教育機関協議会 夏季教員研修会ワークショップ・分科会 九州ブロック幹事校支援 2022年8月(Web配信)
16. 水田明子. 外国人のためのてらの保健室, 妙行寺, 2022年4月, 7月, 8月11月(鹿児島市)
17. 水田明子. 一般社団法人日本家族計画協会 公衆衛生委員会編集委員
18. 水田明子. 公衆衛生看護と保健師の役割 合同進学ガイダンス. 大学地域コンソーシアム鹿児島. 2022年12月(鹿児島市)
19. 水田明子. 第33回日本疫学会学術総会 実行委員
20. 宮田昌明. 動脈硬化性疾患における薬剤介入のトピックス. 第一回 臨床に「薬だつ」研修会, 2022年3月(Web配信)
21. 宮田昌明. 高尿酸血症の診断と治療: 高尿酸血症・痛風の治療ガイドラインを踏まえて. 興和社内勉強会, 2022年4月(Web配信)
22. 宮田昌明. 循環器疾患. 日本温泉気候物理医学会温泉療法医講習会, 2022年6月(Web配信)
23. 宮田昌明. 動脈硬化性疾患予防ガイドライン改定のポイントと健康長寿の秘訣. 第1回鹿児島市南部地区薬業連携の会, 2022年8月(Web配信)
24. 宮田昌明. 健康長寿を目指した温泉の活用! 杉循環器科内科病院市民公開セミナー: 長寿社会をすこやかに生きるために, 2022年10月(福岡)
25. 宮田昌明. 新型コロナの現状と健康長寿. 鹿児島南地区安全運転管理協議会事業主研修会, 2022年11月(鹿児島市)

## 〔理学療法学専攻〕

### 【論文著書】

(和文著書)

1. 奈良勲(監修), 神戸晃男, 堀寛史, 山本大誠, 園部俊晴, 大渡昭彦, 他. 基礎科学を融合した理学療法推論の実際, 運動と医学の出版社, 神奈川, pp.331-336, 2022

(英文論文)

1. Ando M, Higuchi Y, Yuan JH, Yoshimura A, Kitao R, Morimoto T, Taniguchi T, Takeuchi M, Takei J, Hiramatsu Y, Sakiyama Y, Hashiguchi A, Okamoto Y, Mitsui J, Ishiura H, Tsuji S, Takashima H. Novel de novo POLR3B mutations responsible for demyelinating Charcot-Marie-Tooth disease in Japan. Ann Clin Transl Neurol. 2022 May; 9(5): 747-755.
2. Ando M, Higuchi Y, Yuan J, Yoshimura A, Taniguchi T, Takei J, Takeuchi M, Hiramatsu Y, Shimizu F, Kubota M, Takeshima A, Ueda T, Koh K, Nagaoka U, Tokashiki T, Sawai S, Sakiyama Y, Hashiguchi A, Sato R, Kanda T, Okamoto Y, Takashima H. Novel heterozygous variants of SLC12A6 in Japanese families with Charcot-Marie-Tooth disease. Ann Clin Transl Neurol. 2022 Jul; 9(7): 902-911.

## 業 績 目 録

3. Hiramatsu Y, Okamoto Y, Yoshimura A, Yuan JH, Ando M, Higuchi Y, Hashiguchi A, Matsuura E, Nozaki F, Kumada T, Murayama K, Suzuki M, Yamamoto Y, Matsui N, Miyazaki Y, Yamaguchi M, Suzuki Y, Mitsui J, Ishiura H, Tanaka M, Morishita S, Nishino I, Tsuji S, Takashima H. Complex hereditary peripheral neuropathies caused by novel variants in mitochondrial-related nuclear genes. *J Neurol*. 2022 Aug; 269(8): 4129–4140.
4. Ando M, Higuchi Y, Okamoto Y, Yuan J, Yoshimura A, Takei J, Taniguchi T, Hiramatsu Y, Sakiyama Y, Hashiguchi A, Matsuura E, Nakagawa H, Sonoda K, Yamashita T, Tamura A, Terasawa H, Mitsui J, Ishiura H, Tsuji S, Takashima H. An NEFH founder mutation causes broad phenotypic spectrum in multiple Japanese families. *J Hum Genet*. 2022 Jul; 67(7): 399–403.
5. Ando M, Higuchi Y, Yuan J, Yoshimura A, Taniguchi T, Kojima F, Noguchi Y, Hobara T, Takeuchi M, Takei J, Hiramatsu Y, Sakiyama Y, Hashiguchi A, Okamoto Y, Mitsui J, Ishiura H, Tsuji S, Takashima H. Comprehensive Genetic Analyses of Inherited Peripheral Neuropathies in Japan: Making Early Diagnosis Possible. *Biomedicines*. 2022 Jun 29; 10(7): 1546.
6. Higuchi Y, Ando M, Yoshimura A, Hakotani S, Koba Y, Sakiyama Y, Hiramatsu Y, Tashiro Y, Maki Y, Hashiguchi A, Yuan J, Okamoto Y, Matsuura E, Takashima H. Prevalence of Fragile X-Associated Tremor/Ataxia Syndrome in Patients with Cerebellar Ataxia in Japan. *Cerebellum*. 2022 Oct; 21(5): 851–860.
7. Ando M, Higuchi Y, Yuan JH, Yoshimura A, Higashi S, Takeuchi M, Hobara T, Kojima F, Noguchi Y, Takei J, Hiramatsu Y, Nozuma S, Sakiyama Y, Hashiguchi A, Matsuura E, Okamoto Y, Nagai M, Takashima H. Genetic and clinical features of cerebellar ataxia with RFC1 biallelic repeat expansions in Japan. *Front Neurol*. 2022 Aug 10; 13: 952493.
8. Taniguchi T, Ando M, Okamoto Y, Yoshimura A, Higuchi Y, Hashiguchi A, Matsuda N, Yamamoto M, Dohi E, Takahashi M, Yoshino M, Nomura T, Matsushima M, Yabe I, Sanpei Y, Ishiura H, Mitsui J, Nakagawa M, Tsuji S, Takashima H. Elderly patients with suspected Charcot-Marie-Tooth disease should be tested for the TTR gene for effective treatments. *J Hum Genet*. 2022 Jun; 67(6): 353–362.
9. Daisuke Sakuma, Yasuhiro Ishidou, Yusuke Fujimoto, Shunsuke Nakamura, Toshiro Ijuin, Satoshi Nagano and Noboru Taniguchi. Finite element analysis of mechanical stress of the hip joint in patients with posterior pelvic inclination. *World Academy of Sciences Journal* 4: 10, 2022. DOI: 10.3892/wasj.2022.145
10. Sumizono M, Yoshizato Y, Yamamoto R, Imai T, Tani A, Nakanishi K, Nakakogawa T, Matsuoka T, Matsuzaki R, Tanaka T, Sakakima H. Mechanisms of Neuropathic Pain and Pain-Relieving Effects of Exercise Therapy in a Rat Neuropathic Pain Model. *Pain Res*. 2022; 15: 1925–1938. doi: 10.2147/JPR.S367818. eCollection 2022.
11. Shotaro Otsuka, Keita Fukumaru, Akira Tani, Seiya Takada, Kiyoshi Kikuchi, Kosuke Norimatsu, Ryoma Matsuzaki, Teruki Matsuoka, Harutoshi Sakakima, Yuji Omiya, Keita Mizuno, Yosuke Matsubara and Ikuro Maruyama. Analysis of the Effects of Ninjin'yoeito on Physical Frailty in Mice. *Int. J. Mol. Sci*. 2022, 23, 11183.
12. Tani A, Sakakima H, Otsuka S, Mizuno K, Nakanishi K, Norimatsu K, Takada S, Matsuoka T, Matsuzaki R, Nakakogawa T, Maruyama I. *J Ethnopharmacol*. 2023; 302(Pt B): 115927.
13. Nishimoto D, Kodama S, Nishio I, Makizako H. Association between the perception of behavior change and habitual exercise during COVID-19: A cross-sectional online survey in Japan. *Int J Environ Res Public Health*, in press, 2022.
14. Ikeda Y, Tabira T, Ohsige T, Masumitsu T, Makizako H. Association between sleep onset problem and subjective cognitive complaints among Japanese older adults during the coronavirus disease 2019 pandemic. *Int J Environ Res Public Health*, in press, 2022.
15. Okamae A, Ogawa T, Makizako H, Matsumoto D, Ishigaki T, Kamiya M, Miyashita T, Ihira H, Taniguchi Y, Misu S, Ohnuma T, Chibana T, Morikawa N, Ikezoe T. Efficacy of therapeutic exercise on activities of daily living and cognitive function among older residents in long-term care facilities: A systematic review and meta-analysis of randomized controlled trials. *Arch Phys Med Rehabil*, in press, 2022.
16. Kamiya M, Ihira H, Taniguchi Y, Matsumoto D, Ishigaki T, Okamae A, Ogawa T, Misu S, Miyashita T, Ohnuma T, Chibana T, Morikawa N, Ikezoe T, Makizako H. Low-intensity resistance training to improve knee extension strength in community-dwelling older adults: systematic review and meta-analysis of randomized controlled studies. *Exp Gerontol*, in press, 2022.
17. Kiuchi Y, Doi T, Tsutsumimoto K, Nakakubo S, Kurita S, Nishimoto K, Makizako H, Shimada H. Association between dietary diversity and sarcopenia in community-dwelling older adults. *Nutrition*, 106: 111896, 2022.
18. Akasaki Y, Tabira T, Maruta M, Makizako H, Miyata M, Han G, Ikeda Y, Nakamura A, Shimokihara S, Hidaka Y, Kamasaki T, Kubozono T, Ohishi M. Social Frailty and Meaningful Activities among Community-Dwelling Older Adults with Heart Disease. *Int J Environ Res Public Health*, 19(22): 15167, 2022.
19. Akaida S, Tabira T, Nakai Y, Maruta M, Taniguchi Y, Tomioka K, Sato N, Wada A, Makizako H. Are satisfaction and performance of meaningful activities associated with comprehensive frailty in older adults? *Arch Gerontol Geriatr*, in press, 2022.

## 業績目録

20. Taniguchi Y, [Makizako H](#), Nakai Y, Kiuchi Y, Akaida S, Tateishi M, Takenaka T, Kubozono T, Ohishi M. Associations of alpha-actinin 3 genotypes with bone and muscle mass loss among middle-aged and older adults. *J Clin Med*, 19; 11(20): 6172, 2022.
21. Shiratsuchi D, [Makizako H](#), Nakai Y, Bae S, Lee S, Kim H, Matsuzaki-Kihara Y, Miyano I, Ota H, Shimada H. Associations of fall history and fear of falling with multidimensional cognitive function in independent community-dwelling older adults: findings from ORANGE study. *Aging Clin Exp Res*, 34(12): 2985–2992, 2022.
22. Maruta M, Shimokihara S, [Makizako H](#), Ikeda Y, Han G, Akasaki Y, Hidaka Y, Kamasaki T, Kubozono T, Ohishi M, Tabira T. Associations between apathy and comprehensive frailty as assessed by the Kihon Checklist among community-dwelling Japanese older adults. *Psychogeriatrics*, 22(5): 651–658, 2022.
23. Nishita Y, [Makizako H](#), Jeong S, Otsuka R, Kim H, Obuchi S, Fujiwara Y, Ohara Y, Awata S, Yamada M, Iijima K, Shimada H, Suzuki T. Temporal trends in cognitive function among community-dwelling older adults in Japan: Findings from the ILSA-J integrated cohort study. *Arch Gerontol Geriatr*, 102: 104718, 2022.
24. [Makizako H](#), Kiyama R, Nakai Y, Kawada M, Tomioka K, Taniguchi Y, Takenaka T, Kubozono T, Ohishi M. Reference values of chair stand test and associations of chair stand performance with cognitive function in older adults. *Aging and Health Research*, in press, 2022.
25. Masumitsu T, Kubozono T, Miyata M, [Makizako H](#), Tabira T, Takenaka T, Kawasoe S, Tokushige A, Niwa S, Ohishi M. Association of Sleep Duration and Cardio-Ankle Vascular Index in Community-Dwelling Older Adults. *J Atheroscler Thromb*, 29(12): 1864–1871, 2022.
26. Akaida S, Nakai Y, Shiratsuchi D, Tomioka K, Taniguchi Y, Sato N, Wada A, Kiuchi Y, Shono S, Shiiba R, Tateishi M, [Makizako H](#). Association of self-rated health with type and frequency of social interaction during the declaration of COVID-19 state of emergency among Japanese community-dwelling oldest-old adults. *Geriatr Gerontol Int*, 22: 405–411, 2022.
27. Miyata H, Maruta M, [Makizako H](#), Han G, Ikeda Y, Nakamura A, Tokuda K, Shimokihara S, Akaida S, Hidaka Y, Akasaki Y, Kubozono T, Ohishi M, Tabira T. Association between satisfaction with meaningful activities and social frailty in community-dwelling Japanese older adults. *Arch Gerontol Geriatr*, 19; 100: 104665, 2022.
28. Kodama A, Kume Y, Lee S, [Makizako H](#), Shimada H, Takahashi T, Ono T, Ota H. Impact of COVID-19 pandemic exacerbation of depressive symptoms for social frailty from the ORANGE registry. *Int J Environ Res Public Health*, 16; 19(2): 986, 2022.
29. Nakai Y, [Makizako H](#), Shiratsuchi D, Taniguchi Y, Akaida S, Tateishi M, Akanuma T, Yokoyama K. Association of sleep quality status with worsening low back or knee pain during the COVID-19 state of emergency among old-old adults. *Pain Management Nursing*, 23(4): 473–477, 2022.
30. Kimura M, Moriyasu A, [Makizako H](#). Positive association between high protein food intake frequency and physical performance and higher-level functional capacity in daily life. *Nutrients*, 14(1), 72. 2022.
31. Maruta M, [Makizako H](#), Ikeda Y, Han G, Shimokihara S, Miyata H, Nakamura A, Tokuda K, Kubozono T, Ohishi M, Tomori K, Akaida S, Tabira T. Characteristics of meaningful activities in community-dwelling Japanese older adults with pre-frailty and frailty. *Arch Gerontol Geriatr*, 99: 104616, 2022.
32. Kubozono T, Akasaki Y, Kawasoe S, Ojima S, Kawabata T, [Makizako H](#), Kuwahata S, Takenaka T, Maeda M, Fujiwara S, Miyagawa K, Ikeda Y, Ohishi M. The relationship between day-to-day variability in home blood pressure measurement and multiple organ function. *Hypertens Res*, 45(3): 474–482, 2022.
33. Yano N, Iwashita D, [Ohwatashi A.](#), The utility of bioelectrical impedance analysis to assess nutritional status of patients with severe motor and intellectual disabilities. *Clin Nutr ESPEN*. 2022 Aug; 50: 191–195. doi: 10.1016/j.clnesp.2022.05.018. Epub 2022 May 30. PMID: 35871923
34. Matsuzawa Y, Miyazaki T, Takeshita Y, Araki S, Nakatsuji S, Fukunaga S, [Kawada M](#), [Kiyama R](#). For Patients with Stroke, Balance Ability Affects the Leg Extension Angle on the Affected Side. *Appl. Sci*, 12(19), 9466, 2022
35. Nakatsuji S, [Kawada M](#), Takeshita Y, Matsuzawa Y, Hata K, Araki S, [Kiyama R](#). Effect of Unilateral Knee Extension Restriction on the Lumbar Region during Gait. *J Healthc Eng*, Aug 22, 1151753, 2022
36. Takeshita Y, [Kawada M](#), Miyazaki T, Nakai Y, Araki S, Nakatsuji S, Matsuzawa Y, Nakashima S, [Kiyama R](#). Effects of Knee Flexion Angles on the Joint Force and Muscle Force during Bridging Exercise: A Musculoskeletal Model Simulation. *J Healthc Eng*, May 29, 7975827, 2022
37. Wada A, [Makizako H](#), Nakai Y, Tomioka K, Taniguchi Y, Sato N, Kiuchi Y, [Kiyama R](#), Kubozono T, Takenaka T, Ohishi M. Association between cognitive frailty and higher-level competence among community-dwelling older adults. *Arch Gerontol Geriatr*, 2022; 99: 104589, 2022

## 業績目録

### (和文論文)

1. 平松有, 岡本裕嗣. 慢性進行性外眼筋麻痺症候群 (CPEO), Kearns-Sayre 症候群. 小児内科 54(4): 587-591, 2022
2. 当科における無計画切除後に追加広範切除を行った粘液線維肉腫の治療成績. 大西啓志朗, 増田裕介, 佐々木裕美, 篠原直弘, 永野聡, 谷口昇. 整形外科と災71(4): 737-739, 2022
3. 白土大成, 牧迫飛雄馬, 赤井田将真, 生野佐紀, 椎葉竜平, 谷口善昭, 富岡一俊, 佐藤菜々, 和田あゆみ, 木内悠人, 立石麻奈, 中井雄貴. 新型コロナウイルス感染症の流行に伴う就労者の腰痛変化とプレゼンティーズムとの関連. 理学療法学. 49巻 5号, p339-347, 2022.
4. 赤井田将真, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 立石麻奈, 田平隆行, 竹中俊宏, 窪園琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者ドライバーにおける自動車事故歴と転倒歴の関係. 日本老年療学会誌. (印刷中) 2022.
5. 牧迫飛雄馬, 赤井田将真, 立石麻奈, 松野孝也, 鈴木真吾, 平塚達也, 竹中俊宏, 窪園琢郎, 大石充. 地域在住高齢者の軽度認知障害と関連する可変因子一傾向スコア・マッチング法を用いた横断研究一. 日本老年療学会誌. (印刷中) 2022.
6. 谷口善昭, 牧迫飛雄馬, 中井雄貴, 富岡一俊, 窪園琢郎, 竹中俊宏, 大石充. 地域在住高齢者における骨量および筋量の低下と身体活動との関連性. 理学療法学, 49巻 2号, p131-138, 2022.
7. 牧迫飛雄馬, 白土大成, 椎葉竜平, 谷口善昭, 窪園琢郎, 大石充. 地域在住高齢者における運動器疾患, 転倒歴および多剤併用とサルコペニアとの関連. 日本予防理学療学会誌, 第1巻, p19-24, 2022.
8. 牧迫飛雄馬. 日常現象と認知機能. 体育の科学, Vol.72 no.12, p859-862, 2022.
9. 牧迫飛雄馬. 運動習慣で健康増進と疾病予防は達成できるか. 老年科 GERIATRICS, Vol. 6, No. 2, p98-104, 2022.
10. 牧迫飛雄馬. フレイルのチェッカーフレイルの多面性一. 内科総合誌 Medical Practice, Vol. 39, No. 8, p1241, 2022.
11. 牧迫飛雄馬. Key words 介護予防. CURRENT THERAPY (カレントセラピー), Vol.40 No.5, p88, 2022.
12. 牧迫飛雄馬. 疫学的分析に基づく地域包括ケア. 老年科, 第5巻 第2号, p95-100, 2022.
13. 木村美佳, 牧迫飛雄馬. 高たんぱく食品の高頻度摂取と高い身体能力および高次生活機能との関係性. イルシー ILSI JAPAN No.151, p28-42, 2022.
14. 牧迫飛雄馬, 立石麻奈. Seminar3. 地域高齢者の孤立予防のための運動を介した社会生活の促進. Geriat.Med. 60(8): 707-710, 2022
15. 荒本草太, 川田将之, 宝満厚太, 東條竜二, 中村俊博, 竹下康文, 大渡昭彦, 木山良二, 前脛骨筋と中脛筋に対する機能的電気刺激が脳卒中片麻痺者の歩容に与える即時効果 症例研究 (研究報告). 鹿児島大学医学部保健学科紀要, 32(1): 29-36, 2022
16. 中井雄貴, 木山良二, 川田将之, 宮崎宣丞. 腰背部の自己筋膜リリースが体幹機能におよぼす効果の検証. デサントスポーツ科学, 43: 120-127, 2022

### 【学会発表】

#### (国際学会)

1. Makizako H. Physical frailty and future costs of long-term care among Japanese older adults. The 8th ASIAN Conference for Frailty and Sarcopenia. Nagoya, Oct 27-28, 2022.
2. Akaida S, Taniguchi Y, Nakai Y, Kiuchi Y, Tateishi M, Shiratsuchi D, Kubozono T, Ohishi M, Makizako H. Is there an association between cardio-ankle vascular index and physical and cognitive performance? The 8th ASIAN Conference for Frailty and Sarcopenia. Nagoya, Oct 27-28, 2022.
3. Makizako H., Fukuei T, Akaida S, Tateishi M, Taniguchi Y, Shiratsuchi D, Aishita Y, Kuratsu R. Association of neighborhood environment with frailty among Japanese adults aged 60 years and older. The 8th ASIAN Conference for Frailty and Sarcopenia. Nagoya, Oct 27-28, 2022.
4. Matsumoto D, Ohnuma T, Chibana T, Fujiwara N, Ishigaki T, Ogawa T, Okamae A, Miyashita T, Kamiya M, Ihira H, Taniguchi Y, Misu S, Ikezoe T, Makizako H. Effects of Home-based physiotherapy on Activities of Daily Living and Quality of Life for Middle-aged and Older Adults with Functional Difficulties: A Systematic Review and Meta-analysis of Randomized Controlled Trials. World Physiotherapy-AWP Regional Congress 2022, Hong Kong (Web), June 18-20, 2022.

#### (国内学会)

1. 吉村明子, 安藤匡宏, 樋口雄二郎, 袁軍輝, 橋口昭大, 岡本裕嗣, 高嶋博. 日本における Charcot-Marie-Tooth 病の包括的遺伝

## 業績目録

- 子解析及び遺伝学的特徴, 第67回 日本人類遺伝学会 12月2022年 神奈川
- 野口悠, 平松有, 岡本裕嗣, 吉村明子, 安藤匡宏, 袁軍輝, 樋口雄二郎, 橋口昭大, 高嶋博. 遺伝性ニューロパチーにおけるミトコンドリア関連の核遺伝子変異についての検討, 第33回 日本末梢神経学会学術集会 9月2022年 東京
  - 澤園啓明, 篠原直弘, 増田裕介, 佐々木裕美, 西川拓朗, 永野聡, 谷口昇. 骨腫瘍との鑑別が困難であった小児壊血病の一例. 第143回西日本整形・災害外科学会, 2022年11月 (福岡)
  - 篠原直弘, 佐々木裕美, 永野聡, 谷口昇, 当科における内固定を行った大腿骨近位良性腫瘍の治療成績. 第95回 日本整形外科学会学術総会, 2022年5月 (兵庫)
  - 橋口大雅, 篠原直弘, 井手貴之, 佐々木裕美, 永野聡, 谷口昇, 手の内軟骨腫に対する鏡視下手術における人工骨漏出の検討. 第144回西日本整形・災害外科学会, 2022年11月 (山口)
  - 佐々木裕美, 篠原直弘, 増田裕介, 永野聡, 瀬戸口啓夫, 谷口昇, 悪性軟部腫瘍切除における周術期感染症のリスクファクターについて The geriatric nutritional risk index (GNRI) の有用性. 第55回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2022年7月 (東京)
  - 篠原直弘, 佐々木裕美, 永野聡, 谷口昇. 当科における大腿骨近位良性骨腫瘍の治療成績の検討. 第55回 日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 2022年7月 (東京)
  - Shotaro Otsuka, Teruki Matsuoka, Ryoma Matsuzaki, Tomomi Nakakogawa, Akira Tani, Kosuke Norimatsu, Seiya Takada, Kazuki Nakanishi, Maruyama Ikuro, Harutoshi Sakakima, Kiyoshi Kikuchi: Preconditioning exercise in rats attenuates early brain injury resulting from subarachnoid hemorrhage by reducing oxidative stress, inflammation, and neuronal apoptosis. 第45回神経科学学会, 2022.6.30-7.3 (沖縄)
  - 中小川智美, 松崎凌真, 松岡輝樹, 則松貢輔, 谷明, 中西和毅, 高田聖也, 大塚章太郎, 榎間春利. 運動やカタキンが加齢による膝関節症発症, 疼痛発現, 運動機能に及ぼす影響. 第20回コ・メディカル形態機能学会学術集会, 2022.9.10 (Web)
  - 角園恵, 吉里雄伸, 今井孝樹, 中西和毅, 谷明, 松崎凌真, 中小川智美, 松岡輝樹, 榎間春利. 神経因性疼痛のメカニズムと神経因性疼痛ラットモデルにおける運動療法の鎮痛効果. 第27回日本基礎理学療法学術大会, 2022.10.1-2 (大阪)
  - 松崎凌真, 中小川智美, 松岡輝樹, 谷明, 則松貢輔, 中西和毅, 高田聖也, 大塚章太郎, 榎間春利. 緑茶カタキン摂取と運動療法の併用が老化促進マウス (SAMP8) の骨格筋に及ぼす影響. 第27回日本基礎理学療法学術大会, 2022.10.1-2 (大阪)
  - 則松貢輔, 中西和毅, 谷明, 松崎凌真, 中小川智美, 松岡輝樹, 大塚章太郎, 高田聖也, 角園 恵, 榎間春利. 老化促進マウスにおける低強度トレッドミル運動は加齢による変形性膝関節症の進行を緩和する. 第27回日本基礎理学療法学術大会, 2022.10.1-2 (大阪)
  - 谷明, 宮崎雅司, 中西和毅, 田邊史, 村角恭一, 井尻幸成, 榎間春利. Water Walker & Spa を用いた水中運動療法が慢性腰痛の改善やQOL 向上に有効であった一症例. 第36回鹿児島県理学療法士学会, 2023.2.19 (Web)
  - 内俊朗, 満田稔, 猪野浩介, 齋藤稔, 中西和毅, 榎間春利. 肝性脳症によりパーキンソニズムを呈した症例の理学療法. 第36回鹿児島県理学療法士学会, 2023.2.19 (Web)
  - 牧迫飛雄馬. 新たなフレイル対策と理学療法士とをつなぐ. フレイルの基礎知識. 九州理学療法士学術大会2022, 福岡, 2022年11月.
  - 牧迫飛雄馬, 赤井田将真, 白土大成, 谷口善昭, 愛下由香里, 福榮竜也, 立石麻奈, 木内悠人, 倉津諒太. 中年者におけるコロナ禍での腰痛発生への外出自粛による身体の衰への自覚の影響. 第9回日本予防理学療法学会学術大会, 東京, 2022年11月.
  - 福榮竜也, 牧迫飛雄馬, 谷口善昭, 赤井田将真, 白土大成, 木内悠人, 立石麻奈, 愛下由香里, 富岡一俊, 中井雄貴. 地域在住高齢者における座位の中断回数および連続座位パターンとサルコペニアの関連性. 第10回日本予防理学療法学会, 東京, 2022年11月.
  - 谷口善昭, 中井雄貴, 赤井田将真, 立石麻奈, 木内悠人, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者における筋力, 握力, 認知機能が社会的フレイルの変化におよぼす影響. 第10回日本予防理学療法学会, 東京, 2022年11月.
  - 赤井田将真, 谷口善昭, 中井雄貴, 木内悠人, 立石麻奈, 白土大成, 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者における認知的フレイルと動脈硬化度の関連. 第9回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 滋賀 (Web), 2022年10月.
  - 牧迫飛雄馬, 福榮竜也, 赤井田将真, 立石麻奈, 谷口善昭, 白土大成, 木内悠人, 愛下由香里, 倉津諒太. コロナ禍における歩数計の利用とフレイル—60歳以上の中高齢者を対象としたWEB 調査—. 第9回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 滋賀 (Web), 2022年10月.
  - 福榮竜也, 牧迫飛雄馬, 赤井田将真, 白土大成, 谷口善昭, 立石麻奈, 木内悠人, 愛下由香里, 倉津諒太. 自動車運転を中止した中高年者における交通の利用頻度と社会的フレイルの関連性. 第9回日本サルコペニア・フレイル学会大会, 滋賀 (Web),

## 業績目録

2022年10月.

22. 牧迫飛雄馬, 赤井田将真, 立石麻奈, 谷口善昭, 白土大成. 60歳以上の中高齢者におけるフレイルと転倒恐怖感との関連. 第9回日本転倒予防学会学術集会, 横浜, 2022年10月.
23. 武藤健人, 白土大成, 南部一気, 坂本勇斗, 古谷直弘, 中村和司, 三谷祐史, 藤井七虹, 牧迫飛雄馬. 急性期脳卒中患者における発症1週間後の10m歩行の可否は退院時屋外自立歩行と退院先に関連する. 第20回日本神経学療法学会学術大会, 大阪, 2022年10月.
24. 松崎(木原)由里子, 牧迫飛雄馬, 赤沼智美, 横山香理, 小塚直樹, 吉田裕人. 地域在住後期高齢者のフレイルにおける多面性の相互関係. 第1回日本老年療法学会学術集会, 沖縄, 2022年10月.
25. 谷口善昭, 赤井田将真, 立石麻奈, 中井雄貴, 木内悠人, 窪菌琢郎, 竹中俊宏, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者の動脈硬化と骨格筋量の低下は関連する. 第1回日本老年療法学会学術集会, 沖縄, 2022年10月.
26. 赤井田将真, 谷口善昭, 白土大成, 立石麻奈, 牧迫飛雄馬. 中高齢者における人生での後悔の有無と主観的幸福感との関連. 第1回日本老年療法学会学術集会, 沖縄, 2022年10月.
27. 白土大成, 谷口善昭, 木内悠人, 赤井田将真, 立石麻奈, 窪菌琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢者におけるPGC-1 $\alpha$ 遺伝子多型と転倒との関連. 第1回日本老年療法学会学術集会, 沖縄, 2022年10月.
28. 牧迫飛雄馬, 赤井田将真, 白土大成, 立石麻奈, 谷口善昭. フレイルの認知度とフレイル該当の有無との関連. 第1回日本老年療法学会学術集会, 沖縄, 2022年10月.
29. 牧迫飛雄馬. 社会活動の促進を含む多面的なフレイル対策. 第9回サルコペニア・フレイル学会大会, 滋賀, 2022年10月.
30. 牧迫飛雄馬. 地域における自助・互助の推進による認知症予防. 第11回日本認知症予防学会学術集会, 福岡, 2022年9月.
31. 立石麻奈, 赤井田将真, 谷口善昭, 木内悠人, 白土大成, 牧迫飛雄馬. COVID-19流行禍における中年期の運動自己効力感に関連する要因. 第77回日本体力医学会大会, 2022年9月.
32. 田平隆行, 池田由里子, 益満智美, 大重匡, 牧迫飛雄馬. 高齢者の趣味活動および満足度と主観的認知障害との関連. 第56回日本作業療法学会, 2022年9月.
33. 益満智美, 宮田昌明, 丹羽さよ子, 牧迫飛雄馬, 田平隆行, 窪菌琢郎, 川添晋, 徳重明央, 大石充. 地域在住高齢者における睡眠時間と血管硬化度との検討. 第54回日本動脈硬化学会, 福岡, 2022年7月.
34. 木内悠人, 土井剛彦, 堤本広大, 中窪翔, 栗田智史, 西本和平, 牧迫飛雄馬, 島田裕之. 地域在住高齢者における食品摂取頻度とサルコペニアとの関連. 第64回日本老年医学会学術集会, 大阪, 2022年6月.
35. 赤井田将真, 生野佐紀, 立石麻奈, 谷口善昭, 白土大成, 牧迫飛雄馬. 中高齢者の人生における最大の後悔が生じる生活領域と性差に関する研究. 第64回日本老年医学会学術集会, 大阪, 2022年6月.
36. 立石麻奈, 赤井田将真, 生野佐紀, 椎葉竜平, 谷口善昭, 木内悠人, 白土大成, 牧迫飛雄馬. フレイル高齢者に対する集団運動と個別運動による効果の相違の検証—ランダム化比較試験—. 第64回日本老年医学会学術集会, 大阪, 2022年6月.
37. 牧迫飛雄馬, 赤井田将真, 白土大成, 立石麻奈, 生野佐紀. 歩数計の利用と身体活動量およびロコモティブシンドロームとの関連. 第64回日本老年医学会学術集会, 大阪, 2022年6月.
38. 白土大成, 牧迫飛雄馬, 谷口善昭, 木内悠人, 赤井田将真, 大石充. 地域在住高齢者における $\alpha$ -アクチニン3遺伝子多型と筋量および身体機能との関連. 第64回日本老年医学会学術集会, 大阪, 2022年6月.
39. 井石里奈, 赤井田将真, 立石麻奈, 生野佐紀, 牧迫飛雄馬. 高齢者における転倒恐怖感とロコモティブシンドロームとの関連性. 日本予防理学療法学会第7回サテライト集会, 霧島, 2022年5月.
40. 山添桃菜, 赤井田将真, 立石麻奈, 生野佐紀, 井石里奈, 牧迫飛雄馬. 高齢者の疼痛および運動習慣の有無が主観的健康感に与える影響. 日本予防理学療法学会第7回サテライト集会, 霧島, 2022年5月.
41. 松尾奈名子, 赤井田将真, 立石麻奈, 谷口善昭, 牧迫飛雄馬. 地域在住高齢女性における30-40代の運動習慣が骨密度に与える影響. 日本予防理学療法学会第7回サテライト集会, 霧島, 2022年5月.
42. 牧迫飛雄馬. 理学療法の再考 I ~これまでとこれから~, 第31回福岡県理学療法士学会 (WEB開催), 2022年2月.
43. 生野佐紀, 赤井田将真, 椎葉竜平, 白土大成, 谷口善昭, 木内悠人, 立石麻奈, 中井雄貴, 牧迫飛雄馬. COVID-19に伴う緊急事態宣言中の生活習慣の変化と主観的幸福感との関係. 第32回日本疫学会学術総会, 2022年1月 (Web発表).
44. 大渡昭彦: シンポジスト: 鹿児島県における地域に根差した介護予防・健康増進の取り組み事例報告, 日本予防理学療法学会第7回サテライト集会 in 霧島, 2022年4月 (鹿児島)
45. 田平健人, 大渡昭彦: 遠隔コミュニケーションツールを用いた集団形成を通して高齢者の運動継続を支援するための実証実験, 日本予防理学療法学会第7回サテライト集会 in 霧島, 2022年4月 (鹿児島)

## 業 績 目 録

46. 大渡昭彦：高齢者の運動継続を支援するための遠隔コミュニケーションツールを用いた実証研究，日本医療マネジメント学会 第20回九州・山口連合大会，2022年11月（鹿児島）
47. 中島将武，川田将之，竹下康文，宮崎宣丞，福田将史，木山良二，日常生活動作時のローテーターカフの筋機能と肩甲上腕関節の代償戦略，九州理学療法士学会大会 2022 in 福岡，2022年11月（福岡・Web 開催）
48. 指宿勝巳，山口祐弥，今藤圭太，足立貴志，竹下康文，荒木草太，宮崎宣丞，内匠正武，川田将之，木山良二，運動発達遅滞児と定型発達児のバランス能力の比較，第9回日本小児理学療法学会学術大会，2022年11月（Web 開催）
49. 松澤雄太，宮崎宣丞，竹下康文，荒木草太，中辻晋太郎，福永誠司，川田将之，木山良二，脳卒中片麻痺者におけるバランス能力・麻痺側下肢機能・歩行能力の相互関係，第20回日本神経理学療法学会学術集会，2022年10月（大阪・Web 開催）
50. 荒木草太，松浦央憲，中村俊博，松澤雄太，宮崎宣丞，竹下康文，中井雄貴，川田将之，木山良二，回復期脳卒中片麻痺者における歩行速度と歩行定常性の縦断的变化および関連性，第20回日本神経理学療法学会学術集会，2022年10月（大阪・Web 開催）
51. 宮崎宣丞，竹下康文，下世大治，柿元翔吾，中島将武，荒木草太，松澤雄太，中井雄貴，川田将之，木山良二，ウェアラブルセンサーによるリアルタイムフィードバックを用いた歩行練習の即時効果：若年健康成人と入院患者における検討，第27回日本基礎理学療法学会学術大会，2022年11月（大阪・Web 開催）
52. 中井雄貴，松野竜工，木山良二，川田将之，宮崎宣丞，荒木草太，竹下康文，腰部への自己筋膜リリースが筋膜滑走と腰部柔軟性および腹部体幹筋力に及ぼす影響，第10回日本運動器理学療法学会学術大会，2022年10月（Web 開催）
53. 中島将武，川田将之，竹下康文，宮崎宣丞，福田将史，木山良二，日常生活動作時の肩甲上腕関節の安定性のメカニズム，第10回日本運動器理学療法学会学術大会，2022年10月（Web 開催）
54. 竹下康文，川田将之，宮崎宣丞，中島将武，中井雄貴，荒木草太，中辻晋太郎，松澤雄太，佐々木聡，指宿勝巳，足立貴志，木山良二，膝関節角度がブリッジ運動中の筋と関節への負荷に与える影響，第10回日本運動器理学療法学会学術大会，2022年10月（Web 開催）

### 【講演】

1. 岡本裕嗣「Charcot-Marie-Tooth 病の治療研究」4月17日2022年（WEB 会議）  
CMT 友の会 春の交流会
2. 岡本裕嗣「脳血管疾患とパーキンソン関連疾患」  
鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻公開講座 8月27日 2022年（鹿児島大学）
3. 牧迫飛雄馬，身体機能評価法について，サルコペニア・フレイル指導士 WEB 研修会（オンライン開催），2022年12月。
4. 牧迫飛雄馬，高齢期における運動機能に対する介入効果は遺伝子多型に影響されるのか？第10回日本運動器理学療法学会学術大会（web 開催），2022年9月。
5. 牧迫飛雄馬，効果的な集団へのアプローチ方法～行動変容を意識した自助・互助の促進～。（一社）佐賀県リハビリテーション3団体協議会，2022年9月（佐賀）。
6. 牧迫飛雄馬，フレイルの基本概念的整理と予防・改善対策。京都府リハビリテーション三療法士会協議会，2022年9月（京都）。
7. 牧迫飛雄馬，いまからはじめる身体と脳の健康増進。かごしま県民大学中央センター，2022年8月（鹿児島）。
8. 牧迫飛雄馬，包括的な心身機能の維持・向上を目指した介護予防活動の基本と実践。（公社）鹿児島県理学療法士協会，2022年8月（鹿児島）。
9. 牧迫飛雄馬，サルコペニアに対する理学療法評価と介入について。（一社）山梨県理学療法士，2022年7月（山梨）。
10. 牧迫飛雄馬，地域包括ケアにおける科学的根拠に基づく介護要生活動の実践。（一社）山口県理学療法士会（WEB 開催），2022年7月（山口）。
11. 牧迫飛雄馬，臨床研究を学ぶ。第57回日本理学療法学会学術研修大会 in とやま，2022年7月（富山）。
12. 牧迫飛雄馬，健康寿命延伸に向けたフレイル予防の実践。鹿児島県後期高齢者医療広域連合，2022年6月（鹿児島）。
13. 牧迫飛雄馬，新型コロナウイルス感染症への理学療法の実践。（公社）大分県理学療法士協会，2022年6月（大分）。
14. 牧迫飛雄馬，認知症を予防しよう！コグニサイズで明るい未来を。（公社）静岡県理学療法士会，2022年6月（静岡）。
15. 牧迫飛雄馬，予防理学療法における講師。大分リハビリテーション専門学校（オンデマンド配信），2022年4月（大分）。
16. 牧迫飛雄馬，認知症の発症予防・進行予防におけるリスク因子と多職種連携。（一社）日本老年療法学会（WEB 開催），2022年3月。
17. 牧迫飛雄馬，フレイルに関する基礎知識と最新の知見。北海道理学療法士会道北支部，2022年2月（北海道）。

## 業 績 目 録

18. 牧迫飛雄馬, フレイルの概念と評価・アプローチ vol.3 ~フレイルの多面性とフレイルサイクルを意識した対策~. (公社)神奈川県理学療法士会, 2022年2月(神奈川).
19. 牧迫飛雄馬, 予防的なりはからみた栄養連携について. (公社)鹿児島県栄養士会, 2022年2月(鹿児島).
20. 牧迫飛雄馬, 老化とフレイル~早期発見と効果的な高齢者の介護予防の実践について~. 第24回熊本県理学療法士学会(WEB開催), 2022年1月(熊本).
21. 牧迫飛雄馬, フレイルって何?一般社団法人 日本いたみ財団(オンデマンド配信), 2022年1月(愛知).
22. 大重匡, 坂元将也, 宇都良大, 内部障害に対する理学療法の進め方の基本. 日本理学療法士協会主催理学療法士講習会, 2022年8月21日(鹿児島市よりZOOMにて遠隔講演)
23. 大重匡, 永野聡, 岡本裕嗣, 牧迫飛雄馬, 高齢者の介護法. 鹿児島大学主催市民公開講座, 2022年8月27日(対面で開講)
24. 大渡昭彦, 木山良二, 川田将之, 理学療法士・作業療法士のための統計処理. 令和4年度鹿児島大学医学部保健学科理学療法専攻公開講座, 2022年6月(鹿児島市)
25. 中西和毅, パーキンソン病に対する根拠に基づいた運動療法. 全国パーキンソン病友の会鹿児島支部 始良・霧島地区交流会, 2022年8月(霧島市)
26. 中西和毅, 転倒予防, 霧島整形外科病院ヘルスケア教室, 2022年11月(霧島市)

### 【その他】

(班会議発表等)

1. 岡本裕嗣, 「多様なミトコンドリア病の遺伝子型/表現型/自然歴等をガイドラインに反映させていくエビデンス創出研究」, ミトコンドリアニューロパチー AMED 難治性疾患実用化研究事業 村山班, 2022年10月(Web開催)
2. 牧迫飛雄馬, 教えて健康法 運動による疫病予防編 第5回「糖尿病予防のための運動」. 国保かごしま No.628, p14-15, 2022.

(座長等)

1. 榎間春利, 第27回日本基礎理学療法学会学術大会, シンポジウム8, 2022年10月(大阪)
2. 永野 聡, 第95回日本整形外科学会学術総会, 一般演題「感染症」, 2022年5月(兵庫)
3. 永野 聡, 第55回日本整形外科学会骨・軟部腫瘍学術集会, 一般演題「基礎研究(3)」, 2022年7月(東京)
4. 永野 聡, 第37回日本整形外科学会基礎学術集会, 一般演題「骨腫瘍:治療」, 2022年10月(宮崎)
5. 牧迫飛雄馬, 知っておきたい地域理学療法(学)のエビデンス. 第9回日本地域理学療法学会学術大会, 2022年12月(WEB)(座長)
6. 牧迫飛雄馬, 新たなフレイル対策と理学療法士とをつなぐ. 九州理学療法士学術大会2022, 福岡, 2022年11月(座長).
7. 牧迫飛雄馬, inochi Gakusei Innovations' Program 2021 日本予防理学療法学会特別賞受賞シンポジウム, 第9回日本予防理学療法学会学術大会, 東京, 2022年11月(座長).
8. 牧迫飛雄馬, ポスター3リハビリテーションと転倒. 第9回日本転倒予防学会学術集会, 横浜, 2022年10月(座長).
9. 牧迫飛雄馬, 会長講演「老年療法学の確立へ向けて~多職種連携の重要性~」. 第1回日本老年療法学会学術集会, 沖縄, 2022年10月(座長).
10. 牧迫飛雄馬, 一般演題口述発表フレイル・サルコペニア・カヘキシア7. 第64回日本老年医学会学術集会, 大阪, 2022年6月(座長).
11. 牧迫飛雄馬, 鹿児島県における地域に根差した介護予防・健康増進の取り組み事例報告, 第7回日本予防理学療法サテライト集会 in 霧島, 霧島, 2022年5月(座長)

(研修会等)

1. 大重匡, 理学療法の基本, 出前授業, 2022年7月15日(鹿児島県立出水高等学校)
2. 大重匡, 理学療法の基本, 出前授業, 2022年11月11日(鹿児島修学館高等学校)
3. 牧迫飛雄馬, 身体機能や認知機能に対する身体活動の効用. 初台リハビリテーション病院研修会(オンライン開催), 2022年11月.
4. 牧迫飛雄馬, フレイルの基礎知識と地域での実践. つくば国際大学理学療法学科卒業後研修会(オンライン開催), 2022年11月.
5. 牧迫飛雄馬, 「地域ケア会議・介護予防推進リーダーにおけるeラーニング・導入研修の改訂」における②転倒予防理学療法

## 業績目録

- 講師. 公益社団法人日本理学療法士協会, 2022年11月.
6. 牧迫飛雄馬. 健康寿命延伸のためのサルコペニア・フレイル対策. NPO 法人日本健康運動士会, 2022年9月 (大阪).
  7. 牧迫飛雄馬. 健康寿命延伸のためのサルコペニア・フレイル対策. NPO 法人日本健康運動士会青森支部, 2022年7月 (青森).
  8. 牧迫飛雄馬. 老年期の健康科学. 放送大学学園, 2022年6月 (鹿児島).
  9. 牧迫飛雄馬. 健康寿命延伸のためのサルコペニア・フレイル対策. NPO 法人 日本健康運動士会, 2022年3月 (東京).
  10. 牧迫飛雄馬. 健康寿命延伸のためのサルコペニア・フレイル対策. NPO 法人 日本健康運動士会, 2022年3月 (大阪).
  11. 大渡昭彦. 鹿児島県作業療法士会主催, 作業療法士会研修会「脳卒中片麻痺患者の電気刺激療法」, 2022年9月 (鹿児島市 web)
  12. 大渡昭彦. 鹿児島県理学療法士会主催, 臨床実習指導者講習会「理学療法士・作業療法士養成施設における臨床実習制度の理念と概要」, 2022年2月・7月・11月・12月 (鹿児島市)
  13. 松田史代, 「倫理」, 鹿児島県理学療法士協会新卒者オリエンテーション, 2022年4月17日 (鹿児島市)
  14. 松田史代, 「人間関係論」, 鹿児島県臨床実習指導者養成研修会, 2022年7月・12月 (鹿児島市)
  15. 松田史代, 「身体障害」, 鹿児島県障がい者スポーツ指導員養成講習会, 2022年8月 (鹿児島市)
  16. 松田史代, 「職業人と倫理」, 鹿児島県理学療法士協会新人教育プログラム, 2022年5月・6月 (鹿児島市, オンライン開催)
  17. 松田史代, 「理学療法について」, 出前講義, 2022年7月 (鹿児島市, 熊本市, 加世田市)

## 〔作業療法学専攻〕

### 【論著書】

(著書)

1. 日本精神神経学会専門医試験制度委員会 (赤崎安昭含む), 日本精神神経学会 専門医試験問題解答と解説第3集 (第7回～第9回). 編著日本精神神経学会専門医制度試験委員会, 新興医学出版, p103-129, 2022
2. 八代利香, 水田明子, 松田史代, 井上和博, 木山良二, 山本直子, 窪田正大, 田中久美子, 牧迫飛雄馬, 中尾優子, 赤崎安昭, チーム医療におけるルーラルヘルスケア ―黒島を訪ねて― (日本語・韓国語・英語版 DVD), 東京サウンドプロダクション, 2022.

(英文論文)

1. Akaida S, Tabira T, Nakai Y, Maruta M, Taniguchi T, Tomioka K, Sato N, Wada A, Makizako H. Are satisfaction and performance of meaningful activities associated with frailty in older adults?: Arch Gerontol Geriatr 2022. doi.org/10.1016/j.archger.2022.104845
2. Akasaki Y, Tabira T, Maruta M, Makizako H, Miyata M, Han G, Ikeda Y, Nakamura A, Shimokihara S, Hidaka Y, Kamasaki T, Kubozono T, Ohishi M. Social frailty and meaningful activities among community-dwelling older adults with heart disease: Int J Environ Res Public Health, 19(22): 15167, 2022 doi.org/10.3390/ijerph192215167
3. Ikeda Y, Tabira T, Oshige T, Masumitsu T, Makizako H, KU-OHL Project member. Association between Sleep Onset Problem and Subjective Cognitive Complaints among Japanese Older Adults during the Coronavirus Disease 2019 Pandemic: Int J Environ Res Public Health, 20(1): 156, 2023. doi.org/10.3390/ijerph20010156
4. Ikeda Y, Maruta M, Han G, Miyata H, Nakamura A, Shimokihara S, Tabira T. Implications of refrigerator management on subjective memory complaints among Japanese community-dwelling older adults: Psychogeriatrics, 2022 doi: 10.1111/psyg.12893
5. Ikeda Y, Maruta M, Shimokihara S, Nakamura A, Han G, Tabira T. Difficulties in the Use of Everyday Technology among Older Adults with Subjective Memory Complaint and Cognitive Decline: Gerontology; 68(6): 655-663, 2022 doi: 10.1159/000518390.
6. Kamasaki T, Otao H, Hachiya M, Kubo A, Okawa H, Fujiwara K, Sakamoto A, Shimokihara S, Maruta M, Tabira T. Social Functioning and Life-Related Domains Associated with Cognitive Frailty in Older Adults: Physical & Occupational Therapy In Geriatrics, 2022. doi.org/10.1080/02703181.2022.2138678
7. Masumitsu T, Kubozono T, Miyata M, Makizako H, Tabira T, Takenaka T, Kawasoe S, Tokushige A, Niwa S, Ohishi M. Association of Sleep Duration and Cardio-Ankle Vascular Index in Community-Dwelling Older Adults: J Atheroscler Thromb. 2022 doi: 10.5551/

## 業績目録

- jat.63594.
8. Maruta M, Makizako H, [Ikeda Y](#), Han G, Shimokihara S, Miyata H, Tokuda K, Kubozono T, Ohishi M, Tomori K, Akaida S, [Tabira T](#). Characteristics of meaningful activities in community-dwelling Japanese older adults with pre-frailty and frailty: Archives of Gerontology and Geriatrics, 2022 doi.org/10.1016/j.archger.2021.104616
  9. Maruta M, Shimokihara S, Makizako H, [Ikeda Y](#), Han G, Akasaki Y, Hidaka Y, Kamasaki T, Kubozono T, Ohishi M, [Tabira T](#). Associations between apathy and comprehensive frailty as assessed by the Kihon Checklist among community-dwelling Japanese older adults: Psychogeriatrics. 2022 doi: 10.1111/psyg.12867.
  10. Miyata H, Maruta M, Makizako H, Han G, [Ikeda Y](#), Nakamura A, Tokuda K, Shimokihara S, Akaida S, Hidaka Y, Akasaki Y, Kubozono T, Ohishi M, [Tabira T](#). Association between satisfaction with meaningful activities and social frailty in community-dwelling Japanese older adults: Arch Gerontol Geriatr, 2022. doi: 10.1016/j.archger.2022.104665.
  11. Sagari A, [Tabira T](#), Maruta M, Tanaka K, Iso N, Okabe T, Han G, Kawagoe M. Risk factors for nursing home admission among older adults: Analysis of basic movements and activities of daily living. PLOS ONE, in press.
  12. Shimokihara S, [Tabira T](#), Hotta M, Tanaka H, Yamaguchi T, Maruta M, Han G, [Ikeda Y](#), Ishikawa T, Ikeda M. Differences by cognitive impairment in detailed processes for basic activities of daily living in older adults with dementia: Psychogeriatrics. 2022. doi: 10.1111/psyg.12894.
  13. Shimokihara S, Maruta M, Akasaki Y, [Ikeda Y](#), Han G, Kamasaki T, Tokuda K, Hidaka Y, Akasaki Y, [Tabira T](#). Association between Frequency of Going Out and Psychological Condition among Community-Dwelling Older Adults after the COVID-19 Pandemic in Japan.: Healthcare, 10(3): 439, 2022. doi: 10.3390/healthcare10030439.
  14. [Tabira T](#), Hotta M, Maruta M, [Ikeda Y](#), Shimokihara S, Han G, Tanaka H, Yamaguchi T, Ishikawa T, Ikeda M. Characteristic of process analysis on instrumental activities of daily living according to the severity of cognitive impairment in community-dwelling older adults with Alzheimer's disease: International Psychogeriatrics, 1–12, 2022. doi:10.1017/S1041610222000552

### (和文論文)

1. 赤井田将真, 中井雄貴, 富岡一俊, 谷口善昭, 立石麻奈, [田平隆行](#), 竹中俊宏, 窪蘭琢郎, 大石充, 牧迫飛雄馬, 地域在住高齢者ドライバーにおける自動車事故歴と転倒歴の関係. 日本老年療学会誌1: 1–6, 2022.
2. 有川瑛人, [窪田正大](#), 原口友子, 右側頭葉の脳梗塞の再発により社会的行動障害が出現した両側側頭葉損傷の1例. 高次脳機能研究42(3): 365–373, 2022.
3. 有川瑛人, 原口友子, [窪田正大](#), 飯干紀代子, 両側被殻損傷例に生じた中枢性羞明の発現機序とそのリハビリテーション. 認知リハビリテーション27(1): 36–46, 2022.
4. 有川瑛人, [窪田正大](#), 原口友子, 有馬美智子, セイリエンスネットワークの不全が疑われた右島皮質損傷の一例. 鹿児島高次脳機能研究会誌31(1): in press.
5. [池田由里子](#), 下木原俊, [田平隆行](#). 主観的もの忘れのある高齢者が困難さを感じやすい生活行為の特徴と視線行動との関連性. 地域ケアリング24(13), 2022.
6. 釜崎大志郎, 大田尾浩, 八谷瑞紀, 久保温子, 大川裕行, 藤原和彦, 坂本飛鳥, 下木原俊, 韓旻熙, 丸田道雄, [田平隆行](#): 地域在住中高年者を対象としたプレフレイルからロバストへの改善に関連する基本チェックリストの各領域の特徴. 日本老年療学会誌1: 1–8, 2022 in press.
7. 釜崎大志郎, 大田尾浩, 八谷瑞紀, 久保温子, 大川裕行, 藤原和彦, 坂本飛鳥, 下木原俊, 韓旻熙, 丸田道雄, [田平隆行](#): 体力測定会への参加頻度に影響する基本チェックリストの項目. 理学療法科学, 38(1), 2023 in press
8. 下木原俊, 丸田道雄, 中村篤, [池田由里子](#), [田平隆行](#): 地域在住高齢者が生活の中で重要としている作業の性別および年代別特徴—大規模コホートデータのベースライン調査—. 作業療法ジャーナル, 56, 2022.
9. 志水章彌, 米山拓, 平下菜穂, 堀ノ内啓介, [窪田正大](#), 常勤義肢装具士による在宅サービス利用者への定期メンテナンス実施についての調査. POアカデミージャーナル30(3): 194–200, 2022.
10. 瀬戸山弘貴, [窪田正大](#), 中山千春, 八反丸健二, 回復期リハビリテーション病棟の運動器疾患患者のサルコペニアと注意機能. 保健の科学64(2): 137–142, 2022.
11. [田平隆行](#): 地域在住認知症高齢者の手段的日常生活活動に対するリハビリテーション. 精神神経学雑誌 124: 717–724, 2022.
12. [田平隆行](#), [池田由里子](#), 丸田道雄, 下木原俊: 健康寿命延伸と療法士: 作業療法士の立場から—自分らしい地域生活を継続するための Meaningful Activity—. 日本老年療学会誌, 1: 1–6, 2022.

## 業績目録

13. 築瀬誠：ホリスティックアプローチとしての精神障害作業療法. 作業療法41(2): 160-165, 2022.
14. 吉満孝二, 福永一喜, 藤田賢太郎, 田中有貴, 西綾, 坂下寛志, 平嶋佑太郎, 岩下周子: IoT 技術を用いた要介護独居高齢者の見守りコミュニケーション支援の可能性. 日本ヒューマンケア・ネットワーク学会誌, 22(1): 39-46, 2022

### 【学会発表】

(国際学会)

1. Tabira T, Ikeda Y, Maruta M, Han G, Tanaka H, Yamaguchi T, Effects of ADL intervention based on Process Analysis of Daily Activity for Dementia in community-dwelling patients with Alzheimer's disease: A non-randomized controlled trial. 18th World Federation of Occupational Therapists Congress. 2022年8月 (Web)

(国内学会)

1. 赤崎義彦, 丸田道雄, 下木原俊, 日高雄磨, 田平隆行, 地域在住高齢者における主観的記憶障害 (SMC) と重要な活動の満足度との関連, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月 (京都)
2. 有川瑛人, 窪田正大, 原口友子, 有馬美智子, セイリエンスネットワークの不全が疑われた右島皮質損傷の一例, 第37回鹿児島高次脳機能研究会, 2022年4月 (Web 開催)
3. 有川瑛人, 池村里菜, 瀬戸宇治友紀, 原口友子, 窪田正大, 飯干紀代子, 新造語を伴うウェルニッケ失語例に Semantic Feature Analysis は効果があるのか, 第32回認知リハビリテーション研究会, 2022年10月 (Web 開催)
4. 有川瑛人, 窪田正大, 原口友子, 夏越祥次, 潜在学習の方略は脳卒中患者の二重課題のパフォーマンスの向上に有用か, 第46回日本高次脳機能障害学会, 2022年12月 (Web 開催)
5. 池田由里子, 田代直子, 松川滉平, 田平隆行, 地域在住高齢者の視線行動と認知機能, 生活行為の関連性, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月 (京都)
6. 池村知江, 下赤久美, 池畑飛鳥, 中蘭正志, 瀬戸山弘貴, 窪田正大, 八反丸健二, 八反丸リハビリテーション病院における急変シミュレーション・フィジカルアセスメント研修を通しての看護教育の現状, 回復期リハビリテーション病棟協会第39回研究大会 in 東京, 2022年2月 (Web 開催)
7. 竹下晃, 井上和博, 脳性麻痺児の就学に向けた作業療法—ADL 向上と家族支援に着目して, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月 (京都)
8. 久木崎航, 大野勘太, 下木原俊, 丸田道雄, 田平隆行, 橈骨遠位端骨折術後患者に対する ADOC-H を用いた目標設定と Occupational coping skill sheet を用いた作業療法の術後6ヶ月間の経過群内前後比較研究, 第17回宮崎県作業療法学会, 2022年12月 (Web)
9. 釜崎大志郎, 大田尾浩, 八谷瑞紀, 久保温子, 大川裕行, 藤原和彦, 坂本飛鳥, 下木原俊, 丸田道雄, 田平隆行, プレフレイルからロバストへの改善に関連する生活関連機能の特徴, 日本ヘルスプロモーション理学療法学会第12回学術集会, 2022年11月 (福岡)
10. 釜崎大志郎, 大田尾浩, 八谷瑞紀, 久保温子, 大川裕行, 藤原和彦, 坂本飛鳥, 下木原俊, 丸田道雄, 田平隆行, 地域在住高齢者を対象とした cognitive frail に関する社会機能および生活関連領域の特徴, 九州理学療法士学術大会, 2022年11月 (福岡)
11. 釜崎大志郎, 大田尾浩, 八谷瑞紀, 久保温子, 大川裕行, 藤原和彦, 坂本飛鳥, 下木原俊, 丸田道雄, 韓 旻熙, 田平隆行, 地域在住高齢者の prefrail に関する生活関連領域の特徴, 第9回日本地域理学療法学会学術大会, 2022年12月 (北海道)
12. 下木原俊, 田平隆行, 堀田牧, 池田由里子, 丸田道雄, 韓 旻熙, 石川智久, 池田学, 地域在住認知症高齢者が実施している食事動作に含まれる工程の重症度別検討, 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会合同開催, 2022年11月 (東京)
13. 下木原俊, 田平隆行, 丸田道雄, 佐賀里昭, 田中浩二, 磯直樹, 岡部拓大, 南拓磨, 川越雅弘, 透析を行う高齢者と認知機能低下の関連について—介護保険認定データを用いた検討—, 第1回老年療法学会学術集会, 2022年10月 (沖縄)
14. 下木原俊, 丸田道雄, ハンゴアンヒ, 池田由里子, 田平隆行, 地域在住認知症高齢者における行動症状に関連する ADL の詳細なプロセスの検討—生活行為工程分析表 (PADA-D) を用いた横断的調査—, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月 (京都)
15. 下木原俊, 日高雄磨, 赤崎義彦, 田平隆行, 地域在住高齢者が重要としている作業活動の居住形態別特徴について, 第32回鹿児島県作業療法学会, 2022年8月 (種子島)
16. 田平隆行, 堀田牧, 池田由里子, 下木原俊, 丸田道雄, 韓 旻熙, 石川智久, 池田学, 地域在住主観的もの忘れ高齢者と軽度 AD 高齢者との IADL 工程障害の特徴, 第41回日本認知症学会学術集会/第37回日本老年精神医学会合同開催, 2022年11月 (東

## 業績目録

京)

17. 田平隆行, 佐賀里昭, 丸田道雄, 下木原俊, 岡部拓大, 磯直樹, 田中浩二, 韓 旻熙, 南拓磨, 川越雅弘, 認知症対応型共同生活介護(グループホーム)における行動心理症状の特徴—介護老人福祉施設との比較—, 第1回老年療法学会学術集会, 2022年10月(沖縄)
18. 田平隆行, 池田由里子, 益満智美, 大重匡, 牧迫飛雄馬, 高齢者の趣味活動およびその満足度と主観的認知障害との関連, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月(京都)
19. 玉城大生, 吉満孝二, 小野智司, 機械学習による心拍変動を用いた体調悪化判別の試み, 第43回人間情報学会, 2022年12月(オンライン)
20. ハンゴアンヒ, 丸田道雄, 下木原俊, 池田由里子, 田平隆行, 地域在住高齢者における社会的フレイルと心の理論との関連, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月(京都)
21. 寺田笑莉菜, 瀬戸山弘貴, 本松逸平, 中山千春, 窪田正大, 八反丸健二, 回復期脳卒中片麻痺患者のABMSIIが歩行能力の予後を予測する可能性の検討, 第4回日本スティムレーションセラピー学会, 2022年9月(Web開催)
22. 中間賢二, 八反丸健二, 窪田正大, 回復期リハビリテーション病棟における自宅でのIADL訓練前後の不安変化, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月(Web開催)
23. 日高雄磨, 丸田道雄, 赤崎義彦, 大勝秀樹, 田平隆行, 地域在住高齢者における墓参り行動の満足度とうつ傾向との関連, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月(京都)
24. 日高雄磨, 下木原俊, 赤崎義彦, 大勝秀樹, 田平隆行, 地域在住高齢者における墓への供花と高次生活機能との関連, 第32回鹿児島県作業療法学会, 2022年8月(種子島)
25. 松尾翼, 窪田正大, 本松逸平, 瀬戸山弘貴, 野元あかり, 濱野美咲, 山田佳奈, 八反丸健二, 咽頭期嚥下障害患者に対するジェントルスティムを用いた併用訓練の比較検討, 第4回日本スティムレーションセラピー学会, 2022年9月(Web開催)
26. 丸田道雄, 下木原俊, 池田由里子, ハンゴアンヒ, 田平隆行, 地域在住高齢者におけるアパシーとフレイルとの関連, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月(京都)
27. 溝下沙歩, 窪田正大, 回復期脳卒中患者における非麻痺側上肢機能と注意との関連, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月(Web開催)
28. 吉満孝二, 福永一喜, 藤田賢太郎, 田中有貴, 平嶋佑太郎, 岩渕俊一郎, 山之内瑞穂, 宮路幸一, 岩下周子, 家庭用テレビを用いたビデオ通話システム「ami」による見守り・コミュニケーションの検討, 第22回日本ヒューマンケア・ネットワーク学会学術集会, 2022年12月

### 【講演・シンポジウム】

1. 赤崎安昭, 精神鑑定の倫理と中立性, 日本司法精神医学会主催 第13回刑事精神鑑定ワークショップ, 2022年1月(web)
2. 赤崎安昭, 事例検討演習 コメンテーター(兼ファシリテーター), 日本司法精神医学会主催 第13回刑事精神鑑定ワークショップ, 2022年1月(web)
3. 赤崎安昭, 大人の「発達障害」の特徴と対応—司法精神医学的視点も含めて—, 鹿児島地方検察庁 法務大臣感謝状授与記念講演, 2022年3月(鹿児島市)
4. 赤崎安昭, 大人の「発達障害」の特徴と対応, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2022年4月(鹿児島市)
5. 赤崎安昭, 心の癖を知る—メンタルヘルス問題解消をめざして—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会 2022年6月(鹿児島市)
6. 赤崎安昭, 大人の「発達障害」を知る—医療の現場が抱える問題も含めて—, 令和4年度看護協会出水地区第1会研修会・特別講演 2022年6月(出水市 web開催)
7. 赤崎安昭, 「不安」に悩まされる病気と治療—事例検討も含めて—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2022年8月(鹿児島市)
8. 赤崎安昭, うつ病の病態・治療・職場復帰—事例検討も含めて—, 鹿児島産業保健総合支援センター 産業保健研修会, 2022年10月(鹿児島市)
9. 赤崎安昭, 大人の「発達障害」—司法精神鑑定の事例も含めて—, 鹿児島県警察学校 ストーカー規制法に関する研修会 2022年10月(始良市)
10. 赤崎安昭, 精神鑑定の倫理と中立性 日本司法精神医学会主催 第14回刑事精神鑑定ワークショップ, 2022年12月(web)
11. 赤崎安昭, 事例検討演習, 日本司法精神医学会主催 第14回刑事精神鑑定ワークショップ, 2022年12月(web)

## 業績目録

12. 池田由里子, 「暮らしのあれこれヒント集」について. コープかごしま組合員学習会. 2022年7月(鹿児島市)
13. 池田由里子, 認知症になっても暮らせるコツについて. コープかごしま組合員学習会. 2022年9月(鹿児島市)
14. 池田由里子, 地域在住高齢者における生活行為の特徴と視線行動との関連性. 第16回日本作業療法研究学会学術大会, シンポジウム, 2022年11月(web)
15. 池田由里子, 高齢者の視線行動から生活行為を考える. 鹿児島県作業療法士会かごしま認知症ネットワーク交流会, 2022年12月(web)
16. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援. くすのこ保育園幼児保育相談事業, 2022年6月(鹿児島)
17. 井上和博, 発達障害のある子どもの理解と対応～幼児期からの早期支援～, 鹿児島県発達支援通園事業施設連絡協議会研修会, 2022年6月(鹿児島)オンライン
18. 井上和博, 子どものからだの発達を促す関わりについて～7ヵ月～11ヵ月を対象に～, 鹿児島市りぼんかん, 2022年6月(鹿児島)
19. 井上和博, 配慮の必要な子どもの理解と支援. ふじヶ丘保育園幼児保育相談事業, 2022年7月(鹿児島)
20. 井上和博, 気になる子どもの理解と対応～支援の必要な子どもとの関わりについて～, 鹿児島市社会事業協会, 2022年8月(鹿児島)
21. 井上和博, 総合的アセスメント, 学校を理解して支援できるOT育成研修会(基礎編), 鹿児島県作業療法士協会研修会, 2022年10月(鹿児島)オンライン
22. 井上和博, OTが考える療育活動の課題設定, 鹿児島県作業療法士協会研修会, 2022年12月(鹿児島)オンライン
23. 田平隆行, 重症度に応じた認知症の作業療法予防期から重度期までADLを中心に, 宮崎県作業療法士会, 認知症作業療法ステップアップ研修, 2022年1月(Web)
24. 田平隆行, 認知症の人のADL・IADL支援—PADA-Dを中心に—. 近畿作業療法士連絡協議会, 認知症の人の作業療法に関する研修会. 2022年2月(Web)
25. 田平隆行, 地域で暮らす認知症高齢者の生活行為に対する支援, 秋田県作業療法士会, 地域における多職種連携による認知症支援推進のための研修会. 2022年3月(Web)
26. 田平隆行, 地域在住認知症高齢者の生活行為に対する作業療法. 第64回日本老年医学会学術集会シンポジウム25 老年症候群に対する非薬物療法の現状と期待. 2022年6月,(大阪)
27. 田平隆行, 臨床に根ざした大学院教育「大学院生の得意を引き出す, 伸ばす」. 第59回日本リハビリテーション医学会学術集会. 合同シンポジウム17専門職業人育成—臨床と研究の二刀流を目指して!. 2022年6月(横浜)
28. 田平隆行, 認知症高齢者の生活行為に得意を活かす作業療法. 第14回奈良県作業療法学会特別講演. 2022年6月(web)
29. 田平隆行, 地域在住高齢者の生活行為に対するリハビリテーション—Active Agingに向けて—. 2022年度神戸学院大学大学院総合リハビリテーション学研究科公開特別講義. 2022年6月(web)
30. 田平隆行, 軽度認知障害(MCI), 主観的認知障害(SCD)に対する評価, 介入. リハテックリンクス, リハデミー. 2022年10月(web)
31. 田平隆行, 認知症の認知機能低下に伴う生活行為障害と作業療法. 山口県作業療法士会学術部研修会. 2022年10月(web)
32. 田平隆行, 生活行為工程分析に基づく作業療法介入—認知症の人の生活行為障害への介入戦略—. 新潟県作業療法士会第2回スキルアップ研修, 2022年11月(web)
33. 田平隆行, 認知症の人の評価と支援の実践. 北海道作業療法士会重点課題研修 認知症研修会②, 2022年12月(web)
34. 田平隆行, 介護保険領域のADLとBPSDについて. 鹿児島県作業療法士会かごしま認知症ネットワーク交流会, 2022年12月(web)
35. 柳田信彦, 介護老人保健施設・認知症専門棟における回想法の基礎と実践, 医療法人寛容会介護老人保健施設さくらんぼ研修会, 2022年2月(鹿児島市)
36. 吉満孝二, 介護ロボット導入の意義と効果. 鹿児島県社会福祉協議会令和3年度介護職スキルアップ研修, 2021年1月(鹿児島市)
37. 吉満孝二, 介護ロボットの特徴と選定の目安. 鹿児島県社会福祉協議会介護ロボットパッケージモデル研修会, 2022年5月(鹿児島市)
38. 吉満孝二, 作業療法へのロボット・AIの活用と今後の可能性について. 日本精神科医学会令和4年度学術教育研修, 2022年6月(オンライン)
39. 吉満孝二, 介護ロボット～活用方法と効果～. 鹿児島県社会福祉協議会令和4年度介護ロボット体験講座, 2022年8月(鹿児島)

## 業績目録

島市)

40. 吉満孝二, 介護ロボットの効果的活用と効果. 鹿児島県社会福祉協議会介護ロボット導入支援研修会・鹿児島県パッケージモデル普及研修, 2022年9月(鹿児島市)
41. 吉満孝二, 介護現場へ介護ロボットを導入する意義と効果, 快護生活フェス! オンライン特別セミナー from 가고しま, 2022年11月(鹿児島市)
42. 吉満孝二, 高齢者の心理評価としての表情解析. 認知症および認知症ケアに関する研修会(介護の森グループ合同研修会), 2022年11月(鹿児島市)
43. 吉満孝二, 介護ロボット～高齢者と身近な福祉機器, 鹿児島県立加世田高校出前講義, 2022年7月(南さつま市)
44. 吉満孝二, 介護ロボットの効果的活用と効果. 鹿児島県社会福祉協議会介護ロボット導入支援研修会・沖縄県パッケージモデル普及研修, 2022年11月(沖縄県)
45. 吉満孝二, 介護ロボットの効果的活用と効果. 社会福祉法人健成会特別養護老人ホームみゆき園令和4年度研修会, 2022年12月(オンライン)
46. 吉満孝二, 重度障がい者の覚醒のタイミングを知らせる支援機器を考える. 公益財団法人テクノエイド協会ニーズ・シーズ交流会2022, 2022年12月(東京都)

### 【報告書, 社会的啓発物】

(認定)

1. 田平隆行, 専門作業療法士(認知症)に係る連携大学院の登録認定, 日本作業療法士協会, 2022年9月.

(座長, 司会)

1. 窪田正大, 第37回鹿児島高次脳機能研究会. 2022年4月(鹿児島市)
2. 田平隆行, 地域1, 第56回日本作業療法学会, 2022年9月(京都)
3. 田平隆行, 認知症予防を目的としたデジタルヘルスの推進, ランチョンセミナー1, 第1回日本老年療法学会学術集会, 2022年10月(沖縄)
4. 田平隆行, 感覚運動機能を向上する作業療法, シンポジウム2, 第16回日本作業療法研究学会, 2022年11月(Web)

(報告書等)

1. 赤崎安昭, 「さんぽ鹿児島」メールレター 229号 相談員からのメッセージ 新年度に発生する中高年層のメンタルヘルス問題～子供の大学受験と労働者のメンタルヘルス～, 令和4年4月7日
2. 赤崎安昭, さんぽ鹿児島 かわら版 第50号 新年度に発生する中高年層のメンタルヘルス問題～子供の大学受験と労働者のメンタルヘルス～, 令和4年4月
3. 赤崎安昭, 大人の「発達障害」鹿児島県医師会報 第856号 令和4年10月1日発行, p48-p49

### 【司法精神鑑定】

1. 赤崎安昭 令和4年1月11日 未成年略取未遂 被疑事件 本鑑定
2. 赤崎安昭 令和4年2月28日 殺人未遂 被疑事件 本鑑定
3. 赤崎安昭 令和4年3月17日 強要未遂 被疑事件 簡易鑑定
4. 赤崎安昭 令和4年3月22日 傷害 被疑事件 簡易鑑定
5. 赤崎安昭 令和4年6月21日 殺人 被疑事件 本鑑定
6. 赤崎安昭 令和4年6月28日 殺人 被疑事件 本鑑定
7. 赤崎安昭 令和4年7月19日 傷害致死 被疑事件 本鑑定
8. 赤崎安昭 令和4年8月3日 殺人 被疑事件 本鑑定
9. 赤崎安昭 令和4年9月22日 放火 被疑事件 本鑑定

### 【民事精神鑑定】

1. 赤崎安昭 令和4年1月18日 補助開始の審判申立事件
2. 赤崎安昭 令和4年3月10日 後見開始の審判申立事件

## 業 績 目 録

3. 赤崎安昭 令和4年3月29日 保佐開始の審判申立事件
4. 赤崎安昭 令和4年4月4日 後見開始の審判申立事件
5. 赤崎安昭 令和4年4月21日 後見開始の審判申立事件
6. 赤崎安昭 令和4年4月25日 後見開始の審判申立事件
7. 赤崎安昭 令和4年8月22日 後見開始の審判申立事件
8. 赤崎安昭 令和4年9月7日 保佐開始の審判申立事件
9. 赤崎安昭 令和4年9月21日 保佐開始の審判申立事件

### 【医療観察法に関する業務】

1. 赤崎安昭 放火事件 令和4年5月25日
2. 赤崎安昭 傷害事件 令和4年6月23日
3. 赤崎安昭 放火事件 令和4年12月2日
4. 赤崎安昭 傷害事件 令和4年12月2日

### 【労働災害に関する業務】

1. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年2月7日
2. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年2月7日
3. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年3月7日
4. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年3月9日
5. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年3月15日
6. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年4月28日
7. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年5月2日
8. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年6月9日
9. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年10月12日
10. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年10月17日
11. 赤崎安昭 労働災害に対する鑑定書 令和4年11月22日